

# ALLEN & HEATH

Digital Mixing Console for Professionals  
**dLive/Avantis/SQ Series**

Digital Audio Matrix Processor  
**AHM**

Zone Mixer  
**GR4**



2024年8月版

# Mission to just keep doing it better

音には、人間の本質的な何かを揺さぶるものがあります。

音は響きを伴い、

迫力あるパフォーマンスや体を突き抜ける心地よいサウンドはもちろん、  
何が起ころうともおかしくないという緊張感や高揚感をもたらします。

そんな音の渦中であって

最も要求の厳しいライブシナリオに対応できる十分な処理能力と柔軟性を備えた  
直感的かつ快適な「究極のミキシングシステム」を作ること。  
これこそが、ALLEN & HEATHの設計目標です。

## CONTENTS

<b>dLive</b> .....	<b>p.04</b>
<b>Avantis</b> .....	<b>p.16</b>
<b>SQ</b> .....	<b>p.22</b>
<b>ME</b> .....	<b>p.32</b>
<b>AHM</b> .....	<b>p.34</b>
<b>IP</b> .....	<b>p.38</b>
<b>GR4</b> .....	<b>p.40</b>





#### XCVI Core

最新のFPGA技術を使用したXCVI Coreは、コア内にある6つのパラレルミキシングエンジンによりサンプル毎に1万以上のクロスポイントを演算し、FPGAルーターは3,000×3,000のオーディオ・パスの処理能力を装備。96kHzのサンプリングレートで多チャンネルを駆使する十分なパワーを生み出します。可変ビット深度は究極の精度とノイズ軽減を講じ、高音質と0.7msの低レイテンシーを実現しています。



## 多彩なアプリケーションに適したシステム

dLiveは、強力なプロセッシングと96kHzの高解像度で高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、本格的なライブや劇場でのショーに対応できるデジタル・ミキシングコンソールです。

また、シンプルなBGMや会議室から、教育施設、礼拝堂、会議場、観光施設など、あらゆる会場の音響を管理するツールを提供するサウンド・マネジメント・システムとしても機能します。

## dLiveシステム

### S Class



Surface (→p.6)



MixRack (→p.7)

### C Class



Surface (→p.8)



MixRack (→p.9)



## Surface

### Harmony User Interface

dLiveのサーフェスには、12インチの静電容量式タッチスクリーンを採用しています。ピンチ、スワイプ、ドラッグ&ドロップに素早く反応し、直感的な操作が可能。エンジニアがミキシングに集中できるツールとなっています。

スクリーンを補完するのがロータリーコントロールで、スクリーンに表示される視覚的なフィードバックと調和しながら、ミキシングを創造性と即時性を持って触覚でコントロールできます。

ハイグリップ・ロータリーノブは正確なコントロールを可能にし、機能に応じて色がマッピングされたRGBイルミネーションを採用して視認性を高めています。また屋外など明るい場所でも高い視認性を維持します。



### 分かりやすいワークフロー

dLiveのサーフェスは、用途やエンジニアの感性に応じたカスタマイズが可能です。シーンやメーター、FXなどを管理するための独自の「ウィジェット」エリアを設置することもでき、作業効率が格段に向上します。

全入力とミックスはすべてのバンクやレイヤーにアサインできるほか、入力とミックスチャンネルは名前を設定や色分けが可能です。26個のソフトキーも用意しています。



## MixRack

### DEEP Processing / Dyn8 / RackExtra FX

XCVI Coreの強力なプロセッシング能力により、数多くの音響効果を可能にするエフェクターやダイナミクスを内蔵しています。(→p.10)



### 優れた耐久性

dLive S Classのコントロール・サーフェスとミックスラックは、ハードなツアリングにも対応できるように軽量化のバランスを考慮しながらも耐久性高く設計されています。

システム全体のオーディオ接続にリダンダントが可能。複雑で厳しい条件の現場にもエレガントに対応します。また、ホットスワップ可能なPSU設計を採用しており、予備電源の装備も可能です。



dLiveは、高い評価を得ている

XCVI 96kHz FPGAプロセッシングを採用し、  
強力なプロセッシングと高音質を実現する  
サウンド・マネジメントシステムです。

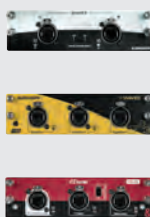


### 必要に応じて

#### I/O拡張ユニット (→p.26~)



#### Networking Card (→p.21)



### 状況に応じて

#### Personal Mixing



ME  
(→p.32)

#### Remote Control



IP  
(→p.38)

### ■ 便利なアプリケーションソフトウェア (→p.19,37)

dLive Director  
dLive MixPad  
dLive OneMix  
MIDI Control  
Custom Control



各デバイスに対応

## Component

### 必要となるオーディオを提供

dLiveシステムは、オーディオが必要な場所に自由に配置することができます。ポータブルステージボックスから固定フォーマットのウォールパネルまで、様々な用途に対応したI/O拡張ユニットを用意しており、数十のオーディオポイントと数百の入出力を提供します。

各AudioRack間は最大100mのCATケーブルを使用でき、光ファイバーへの変更も可能。さらに、最大96台のリモートコントローラーをサポートしており、1つの部屋から最大規模のスペースまで、あらゆる会場に対応できます。

### 高度なネットワークに対応

dLiveシステムは、最大5つの128チャンネルI/Oポートを備え、業界標準プロトコル、GPIOインターフェース、包括的なTCP/IPコントロールプロトコルを採用。Danteインテグレーション、ブロードキャストフィード、マルチトラックレコーディング、ファイバーリンク、サードパーティコントロールなど、高度なオーディオネットワークに対応。時代の要求に応えるための装備を揃えています。

### パーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。

明確でシンプルなコントロールで各パフォーマンスに最適なサウンドを提供。

dLiveシステムとの親和性も高く、セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。(→p.32)



### ユーザーフレンドリーなインターフェース

IPリモートコントローラーは、音量調整、音楽ソースの選択、プリセットの呼び出しなど、必要な要素へのアクセスをカスタマイズできるため、技術者でなくても簡単に操作できます。

また、DirectorソフトウェアやiPadアプリを使えば、移動中でも簡単に設定にアクセスできます。(→p.19)



### ■ サーフェスレス・ミキシング

システムの中核のMixRackとソフトウェアで、従来のコントロールサーフェスを排除した究極のミキシングシステムを構築できます。コントローラーのサーフェスをなくすことで機材を減らせるため、ツアリングにおける総重量の軽量化やスペースの厳しい現場も対応可能。



dLive MixRackとdLive Directorが動作するPC、そしてタッチスクリーンのシステム。持ち運びや保管が簡単で、IP8リモート・コントローラーを追加することで、フェーダーによるミキシングの感覚を維持できます。

# LIVE S Class

## Surface

ALLEN & HEATHデジタル・ミキシングコンソールのフラッグシップモデル。  
快適なコントロールでミキシングに集中できる直感的なコントロールサーフェス。



### S7000

オープンブライス

#### 視認性と操作性を両立

- 2画面、36フェーダー、26ソフトキー
- 216のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 1325×413×728mm、質量 : 約41kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10037:ダストカバー

Option DL-S7FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



### S5000

オープンブライス

#### 視認性とコンパクトさを追求

- 2画面、28フェーダー、26ソフトキー
- 168のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 1115×413×728mm、質量 : 約35kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10036:ダストカバー

Option DL-S5FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



### S3000

オープンブライス

#### 省スペースかつパワフル

- 1画面、20フェーダー、26ソフトキー
- 120のアサインابل・フェーダーストリップ
- 寸法 (W×H×D) : 870×413×728mm、質量 : 約28kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10035:ダストカバー

Option DL-S3FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット

※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

#### S Class Surface共通性能

- 操作性に優れたユーザーインターフェース:Harmony UI  
12インチタッチスクリーン  
ピンチやスワイプ、ドラッグアンドドロップに対応  
専用のマルチモードEQ画面  
シーンやメーター、FXなどを構成可能なウィジットエリア  
3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- アサイン可能な26個のソフトキー
- エンジニアのモニター/IEMフェーダーストリップ
- マルチポイントメーター
- 日中でも優れた視認性を維持
- USBステレオレコーディング/プレイバック

- マイク/ライン入力 (XLR) ×8、ライン出力 (XLR) ×8
- デジタルAES3入力×2、デジタルAES3出力×3
- HUB  
リダundantを構成するMixRackへのgigaACEギガビットリンク  
リダundantを構成するI/O拡張ユニット用DXリンク  
オプションI/O用ポート×2 — 128ch 96kHz  
ネットワークポート×2  
ワードクロック入力BNC×1、ワードクロック出力BNC×1  
VGA×1 (外部ディスプレイ)
- 電源ユニットMPS16×1台 (出荷時実装済み※電源二重化には計2台必要)

# MixRack

強力なプロセッシングと高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、リダンダント機能を施したフラッグシップdLive Sクラス用エンジン。



## DM64

オープンブライズ

### アナログI/Oを多く備えたモデル

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×458×313mm、10U、質量:約21kg

Option DL-DM64-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



## DM48

オープンブライズ

### 省スペースとアナログI/O数を確保

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×369×313mm、8U、質量:約17.5kg

Option DL-DM48-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



## DM32

オープンブライズ

### アナログI/Oを抑えたコンパクトモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×325×313mm、7U、質量:約15kg

Option DL-DM32-FC:フライトケース

MPS16:電源ユニット ※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。



## DMO

オープンブライズ

### 4Uの最もコンパクトなサイズ

- アナログI/Oなし
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- XCVI Coreの強力なプロセッシングと高音質を最もコンパクトなサイズに集約
- リダンダント電源を標準装備
- オーディオディストリビューションが必要な状況やデジタルスプリットに最適。

寸法(W×H×D):482.6×176×355mm、4U、質量:約12kg

Option なし

※MPS16には対応していません。

### S Class MixRack共通性能

- XCVI 160×64 FPGA core  
サンプリングレート96kHz  
可変ビット深度  
96ビットアキュムレーターによる事実上無限のミックスヘッドルーム  
0.7msの極めて低いレイテンシー
- フルプロセッシング可能な128個の入力チャンネル
- フルプロセッシング可能な64個のミックス出力
- 64バス設定可能(グループ・FX・AUX・マトリクス・メイン)  
LR、LCR、最大5.1メインモード  
マルチPFL
- 専用のステレオリターンを備えたRackExtra FX×16
- DCA (Digitally Controlled Amplifier) ×24
- ゾーン1、2、4で最大64チャンネルのオートマッチック・マイク・ミキシング機能(→p.10)
- シグナルジェネレーターとRTAを内蔵

- 安定したパフォーマンスを実現する独自のアクティブPAD回路
- HUB  
リダンダントを構成するサーフェスへのgigaACEギガビットリンク  
I/O拡張ユニット用リダンダントDXリンク×2系統  
オプションI/O用ポート×3 ー 各128ch 96kHz  
ME/パーソナルミキサー用48kHzポート  
ネットワークポート×2  
ワードクロック入力BNC×1、ワードクロック出力BNC×1
- DX HubモジュールまたはDX Linkカード経由で最大46個のDX I/O拡張ユニットを接続可能
- 電源ユニットMPS16×1台(出荷時実装済み※電源二重化には計2台必要)  
※DMOは、リダンダント電源標準装備。
- ヘッドホン出力×1
- 超静音ファン付きフラッシュフロントパネル
- 前後どちらにも取り付け可能なラックイヤーデザイン

## dLive Shure Integration dLive SENNHEISER Integration

ShureやSENNHEISERのワイヤレス・マイクロホンシステムのトランスミッターのバッテリー残量、RF信号強度、レーザーのオーディオ信号レベルをモニターしたり、レーザーのゲインやミュートをコントロールできます。また、接続されたレーザーを自動的に検出するため、オペレーターは手間をかけずにセットアップを行えます。



対応するShure  
ワイヤレス・マイクロホンシステム

- ・QLX-D
- ・ULX-D
- ・Axient Digital



SENNHEISER

対応するSENNHEISER  
ワイヤレス・マイクロホンシステム

- ・300 (G3/G4)
- ・2000
- ・500 (G3/G4)
- ・2050

# LIVE C Class

**Surface** S Classと同等のエンジンパワーをコンパクトなポータブルフォーマットで実現。  
スペースファクターの厳しい現場には、期待を裏切らないスマートチョイス。



## C3500

オープンブライス

### Cクラスで唯一2画面搭載

- 2画面、24フェーダー、19ソフトキー
  - 144のアサインابل・フェーダーストリップ
  - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 885×325×665mm、質量: 約28kg  
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10833:ダストカバー



## C2500

オープンブライス

### 操作性に妥協しないパワフルモデル

- 1画面、20フェーダー、19ソフトキー
  - 120のアサインابل・フェーダーストリップ
  - 3ページのアサインが可能な6個のロータリー
- 寸法 (W×H×D): 775×325×665mm、質量: 約24.5kg  
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10832:ダストカバー



## C1500

オープンブライス

### 優れた機動性を発揮するコンパクトモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
  - 72のアサインابل・フェーダーストリップ
  - MixRackの収まるラックの上に収まるサイズで、優れた機動性を発揮
- 寸法 (W×H×D): 485×325×665mm、質量: 約18kg  
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10831:ダストカバー

Option DL-DLC15-RK19:ラックマウントキット



### C Class Surface共通性能

- 操作性に優れたユーザーインターフェース: Harmony UI  
12インチタッチスクリーン  
ピンチやスワイプ、ドラッグアンドドロップに対応  
専用のマルチモードEQ画面  
シーンやメーター、FXなどを構成可能なウィジットエリア
- アサイン可能な19個のソフトキー
- エンジニアのモニター/IEMフェーダーストリップ
- マルチポイントメーター
- 日中でも優れた視認性を維持
- USBステレオレコーディング/プレイバック
- マイク/ライン入力 (XLR) ×6、ライン出力 (XLR) ×6
- デジタルステレオAES3入力×1、デジタルステレオAES3出力×1
- HUB  
MixRackへのgigaACEギガビットリンク  
I/O拡張用DXリンク  
オプションI/O用ポート-128ch 96kHz  
ネットワークポート×2  
ワードクロック入出力BNC×1  
VGA×1 (外部ディスプレイ)  
PSU×1





## CTi1500

オープンブライズ

### C1500に耐久性と軽量・コンパクト化を加えたモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
- フロントパネルはC1500と同サイズ
- 本体わずか11.5kg
- アームレストは滑らかなスチールカーブに置き換え
- 軽量で耐久性に優れたチタン製のサイドパネルを採用
- そのほかの部分も、強度を保ちながら徹底的に軽量化を実現
- 寸法(W×H×D):440×337×644mm、質量:約11.5kg
- ※MixRackに接続して使用

付属品 なし

Option なし

※C1500用のラックマウントキットは装着できません

## MixRack

XCVI Coreを搭載したdLive Cクラス用エンジン  
PSUの設計を簡易化しリダントを省略。予算に応じたセットアップが可能。



## CDM64

オープンブライズ

多くのアナログI/Oが必要な現場に最適

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA

■ TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

■ 寸法(W×H×D):481.6×354.5×309mm、8U、質量:約13.5kg

Option なし



## CDM48

オープンブライズ

設置状況の制約があれながらもI/Oを必要とする現場に最適

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24

■ 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA

■ TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

■ 寸法(W×H×D):481.6×310×309mm、7U、質量:約12kg

Option なし



## CDM32

オープンブライズ

アナログI/Oを少なくし、物理的サイズを抑えたモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法(W×H×D):481.6×221×309mm、5U、質量:約10kg

Option なし

### C Class MixRack共通性能

- XCVI 160×64 FPGA core  
サンプリングレート96kHz  
可変型ビット深度  
96ビットアキュムレーターによる無限のミックスヘッドルーム  
0.7msの極めて低いレイテンシー
- フルプロセッシング可能な128個の入力チャンネル
- フルプロセッシング可能な64個のミックス出力
- 64バス設定可能(グループ・FX・AUX・マトリクス・メイン)  
LR、LCR、最大5.1メインモード  
マルチPFL
- 専用のステレオリターンを備えたRackExtra FX×16
- DCA (Digitally Controlled Amplifier) ×24
- ゾーン1、2、4で最大64チャンネルのオートマッチング・マイク・ミキシング機能(→p.10)
- シグナルジェネレーターとRTAを内蔵
- 新型プリアンプを搭載
- 安定したパフォーマンスを実現する独自のアクティブPAD回路
- HUB  
サーフェスへのgigaACEギガビットリンク  
I/O拡張ユニット用DXリンク×2  
オプションI/O用ポート 各128ch 96kHz  
MEパーソナルミキサー用48kHzポート  
ネットワークポート×2  
ワードクロック入出力BNC×1
- DX HubモジュールまたはDX Linkカード経由で最大22個のDX I/O拡張ユニットを接続可能
- PSU×1
- ヘッドホン出力×1
- 超静音ファン付きフラッシュフロントパネル
- 前後どちらにも取り付け可能なラックイヤーデザイン

# World-Class Processing & FX

## DEEP Processing

DEEPプロセッシング・アーキテクチャーにより、オーディオニュアンスをノンリニアで捉える高性能コンプレッサーやクラシックなサウンドを届けるプリアンプなどの、優れたプラグインを幅広くそろえています。

グラフィックEQ、コンプレッサー、64チャンネルのオートマチック・マイクミキサーなどの独自アルゴリズムの数々は、FXスロットのリソースを使用することなく、外部プラグインのセットアップやレイテンシー、ライセンスなどの手間をかけずに、必要に応じてチャンネルインサートできます。

ファームウェアのアップデート時に随時追加されており、使いやすさも都度向上しています。

● **コンプレッサー**

BUS / Peak Limiter 76 / OptTronik / 16T / 16VU / Mighty / Opto

● **エキスパンダー**

Source Expander / Dual Threshold Expander

● **プリアンプ**

Dual Stage Valve / Tube Stage

● **EQ(PEQ/GEQ)**

NEQ12 / Constant-Q / Proportional-Q / Digi-Q / Hybrid



● **オートマチック・マイクミキサー (AMM)**

会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンで、最大64のマイクの音量を自動的に制御します。ハウリングのリスクを軽減するだけでなく、マルチマイクを使用した場面で一般的な問題となるチャンネル間の位相干渉を最小限に抑制します。

■ ひとつのインターフェースから最大4つのゾーンを同時に制御。

- 1ゾーン: 最大64のマイク
- 2ゾーン: 最大32のマイク
- 4ゾーン: 最大16のマイク

■ 動作モードは下記の2種類です。

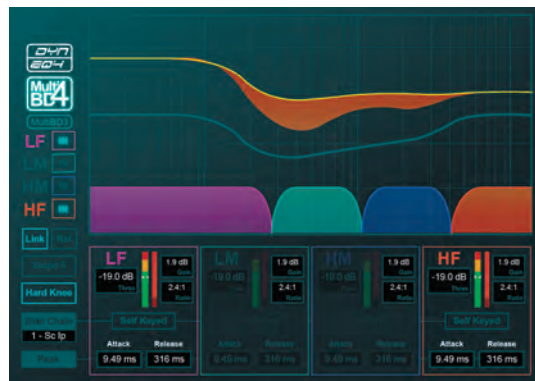
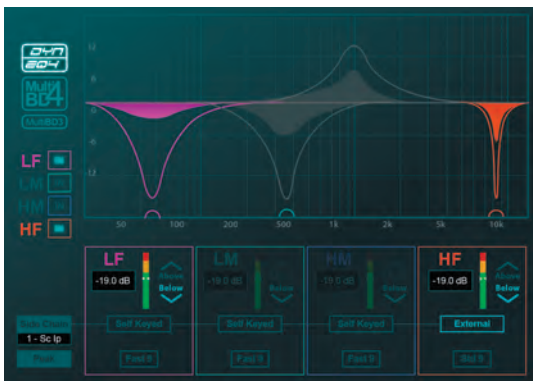
- D-Class: ダイナミックゲイン・シェアリングを採用し、素早く簡単にセットアップ可能
- NOM: ロジックベースのオートマチック・ミキシング・アルゴリズムに基づいており、柔軟性の高いシステムを提供。



## Dyn8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを搭載した、パワフルで洗練されたプロセッサーです。ボーカルの調整、ドラムキットの修正、マスタリング、ミックスの引き締め、グルー感の追加など、多彩な用途で使用できます。

64個ものDyn8エンジンが用意されており、入力チャンネルやミックスチャンネルに挿入でき、自動でアサインされるので、パッチングのストレスがありません。



# RackExtra FX

XCVI CoreのパワーによりFPGA内に強力なDSPカーネルを構築し、リバーブやディレイ、モジュレーターアルゴリズムのライブラリーをdLiveに統合することができます。

専用のステレオリターンを備えた16のFXスロットを利用可能です。



Transient Controller



De-Esser



Hypabass



SMR Live



Gated Reverb



2 Tap Delay



Bucket Brigade



Stereo Tap Delay



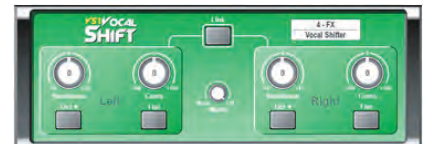
Echo



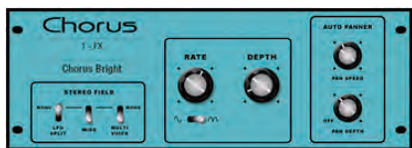
ADT Doubler



Pitchdoubler



VS1 Vocal Shift



Chorus



Symphonic Chorus



Dimension Chorus



Electric Flange



12 Stage Phaser



Rotator



Dynamic EQ



MultiBD3



MultiBD4

# Connecting to dLive

## S Class Surface

S7000、S5000、S3000のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はS3000  
※I/Oポート4にWaves3カード、I/Oポート5に Dante128カードが挿入されています。

拡大



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.21) をご使用ください。

### 最大288×288ch:DX/GX 接続

DX 5	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
DX 6	DX 5のリダント専用	—
I/O Port 4	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
I/O Port 5	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

## S Class MixRack

S ClassのMixRackは、アナログI/O端子の数が異なるだけで、I/Oポートやネットワーク端子の数は同じです。



※画像はDM64

I/O Port1~3 拡大



### 最大448×448ch:DX/GX 接続

DX 1	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
DX 2	DX1のリダント専用	—
DX 3	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
DX 4	DX3のリダント専用	—
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
I/O Port 2	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)
I/O Port 3	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)
	DX Link	(128×128)

本体のgigaACEポートは、Surfaceとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.21) をご使用ください。

# C Class Surface

C3500、C2500、C1500、CTi1500のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。



※画像はC3500

I/O Port

拡大



本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワークカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.21)をご使用ください。

### 最大160×160ch:DX/GX 接続

DX 5	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
I/O Port 4	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) C ClassのハードウェアでDXをリダンダント化するには、DX HubまたはDX Linkオプションを使用します。

# C Class MixRack

C ClassのMixRackは、アナログI/O端子の数が異なるだけで、I/Oポートやネットワーク端子の数は同じです。



※画像はCDMG4

I/O Port

拡大



本体のgigaACEポートは、Surfaceとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワークカードM-DL-GACE (gigaACEカード) (→p.21)をご使用ください。

### 最大192×192ch:DX/GX 接続

DX 1	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
DX 3	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) C ClassのハードウェアでDXをリダンダント化するには、DX HubまたはDX Linkオプションを使用します。

# Connecting to dLive

## リダントの構成

dLiveとAvantisは、不測の事態に備えて伝送ラインを二重化できます。片方のラインに何らかの障害が起こった時に、自動的にもう片方に切り替え、音声を途切れさせることなく運用が可能。

### dLive S Class

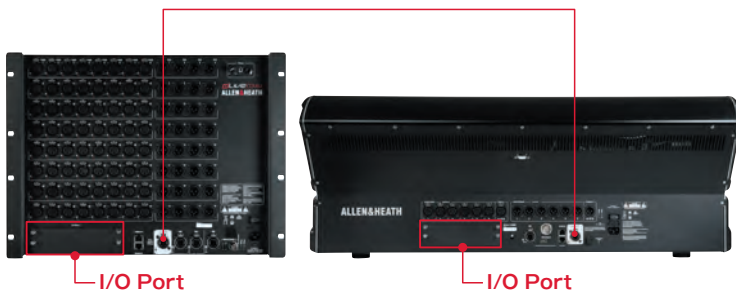
S ClassのMixRackとサーフェスにはリダント専用のDXポートが備わっており、DXを冠したI/O拡張ユニットを2本のケーブルでリダント化。MixRackとサーフェス間は、本体のgigaACEポートを使用します。



※I/OポートにDX LinkカードやgigaACEカードを組み込み、リダントを構成することもできます。下記参照してください。

### dLive C Class

※MixRackとサーフェス間のリダントは不可



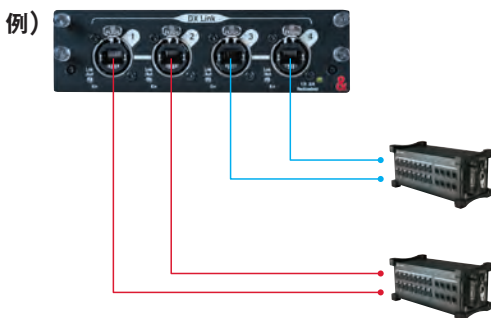
### Avantis



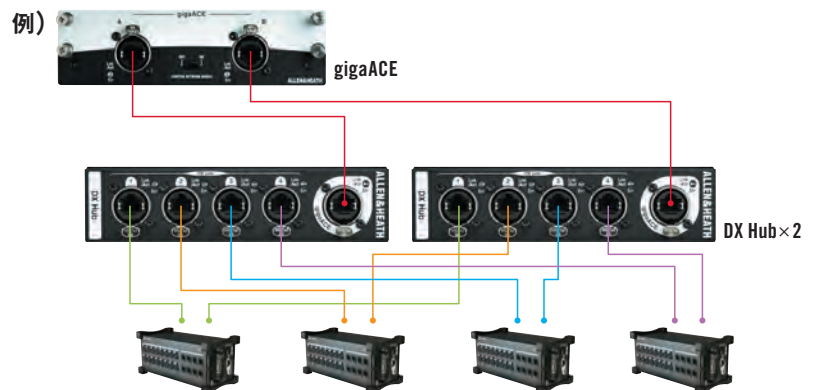
dLive C ClassとAvantisは、I/Oポートを使用してリダントを構成します。

## I/OポートにDX LinkカードやgigaACEカードを組み込みリダントを構成する一例

### DX Linkカード

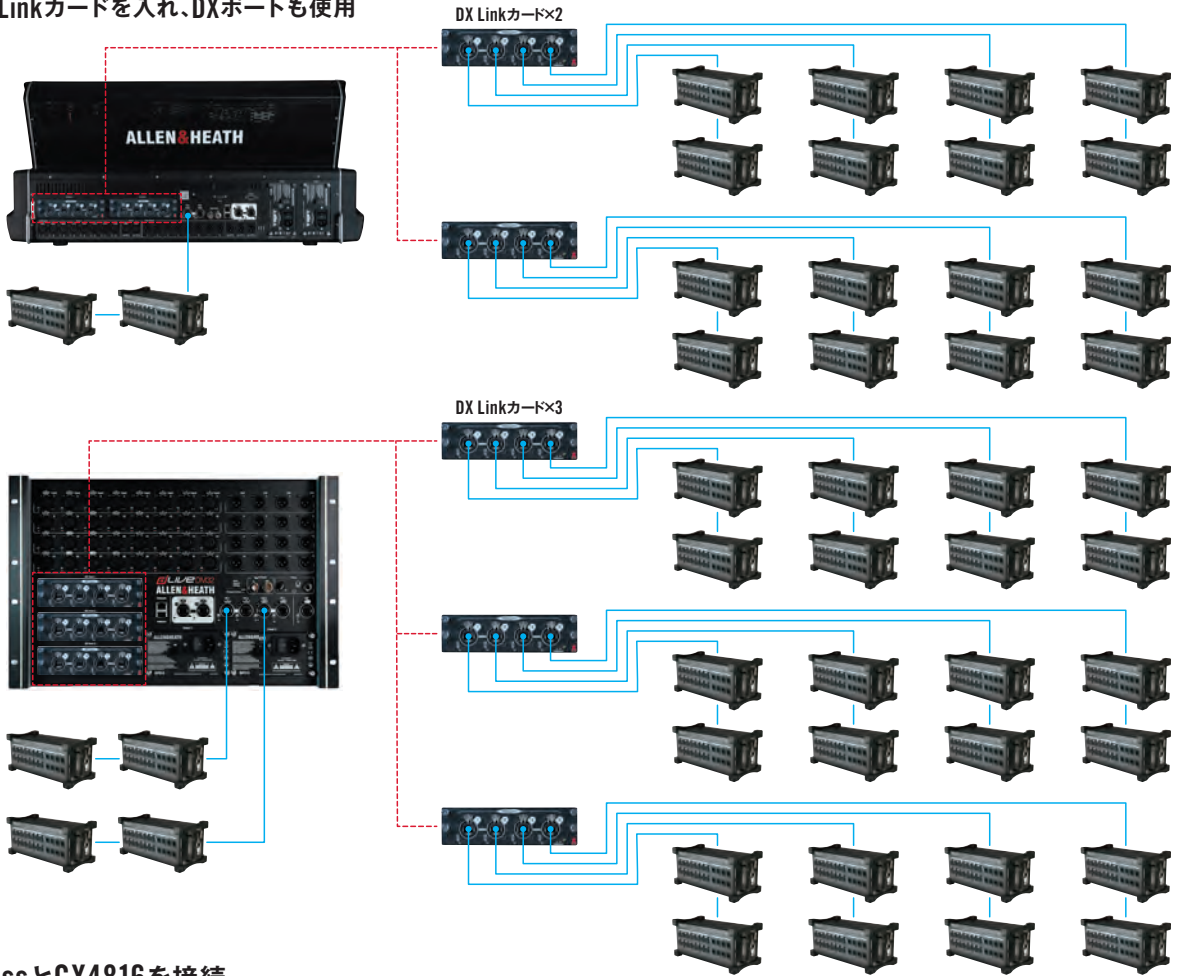


### gigaACEカード & DX Hub



例) dLive S ClassとDXを冠したI/O拡張ユニットを接続

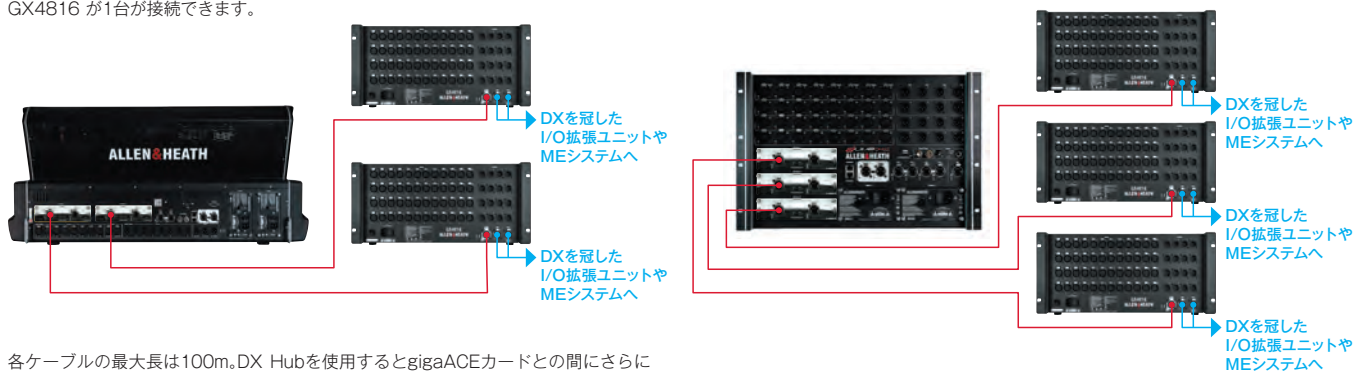
I/OポートにDX Linkカードを入れ、DXポートも使用



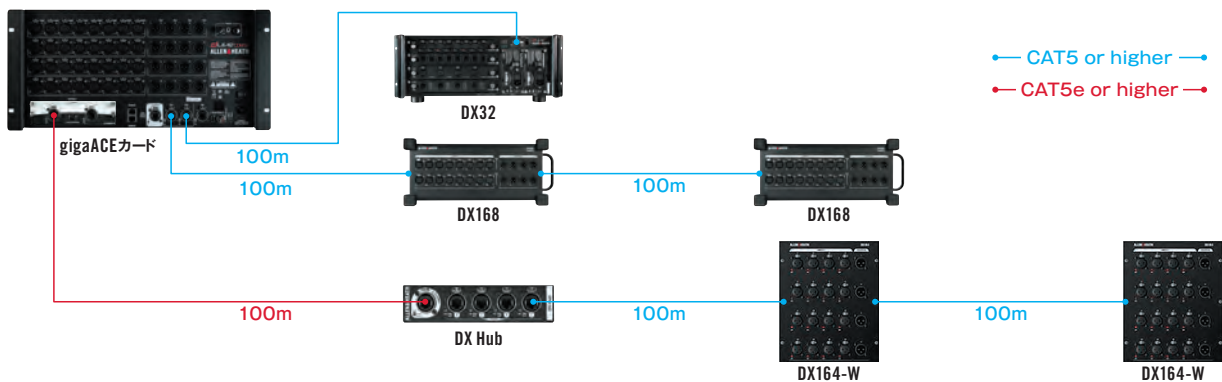
例) dLive S ClassとGX4816を接続

I/OポートにgigaACEカードを使用

dLiveシステムのサーフェスまたはMixRackに装着したgigaACEカード1枚につきGX4816が1台が接続できます。



各ケーブルの最大長は100m。DX Hubを使用するとgigaACEカードとの間にさらに100mのケーブルを配線できるため、合計で300mの距離がとれます。



# avantis



圧倒的なコストパフォーマンス。  
高級感を纏い、高性能を凝縮させたオールインワンモデル。

## Avantis

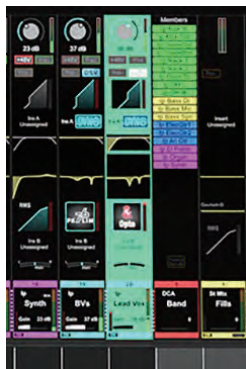
オープンブライズ

### XCVI Core

- ALLEN & HEATHが次世代のFPGA技術を使って開発。
- コア内のエンジンによりAvantisのパワーを生み出し、96kHzのサンプリングレートでFXリターンを含む88×42のチャンネル処理が可能。
- XCVIの強力なパワーにより、64のフルプロセッシング入力と12のステレオFXリターン、設定可能な42のミックスバス、究極の精度とノイズ・パフォーマンスのための可変ビット深度、96ビットのアク્યムレータによる事実上無限のミックス・ヘッドルーム、そして0.7msの超低レイテンシーを実現。

### CONTINUITY UIによる優れた操作性

- 1080pのフルHD解像度で動作する15.6インチの巨大なタッチスクリーン。より多くの重要な情報を見て瞬時に操作することができ、フィジカルコントロールとディスプレイをシームレスに繋がります。
- フェーダーはタッチすると反応し、アクティブなチャンネルがすぐにハイライトされ、視覚的なフィードバックを得られます。
- チャンネルロータリーでは、ゲインやパンを操作した後、ボタンに触れるだけでディスプレイをダイナミックに折りたたんで、バンク全体のEQやコンプレッサーのパラメーターを表示できます。
- 各画面の右側にはFastGrabタブがあり、現在選択されているチャンネルや特定のチャンネルのAux送、EQ、コンプレッサー、FXなど、自由に割り当て可能な主要パラメーターに瞬時にアクセスできます。



### Shure・Sennheiserワイヤレス・マイクロホンシステムのモニタリングが可能。

最大45台のレシーバーをモニタリング。

- Shure: ULX-D, QLX-D, Axient Digital.
- Sennheiser: 2000, 2050, 300, 500 (G3/G4)



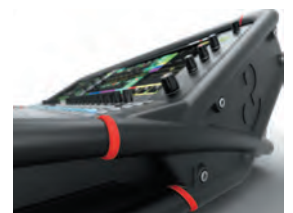
### オートマチック・マイクミキサー (AMM)

最大64のマイクの音量を自動的に制御し、ハウリングのリスクを軽減。会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンに。

- 1, 2, 4のゾーンで最大64chを使用可能
- 1ゾーン: 最大64
- 2ゾーン: 最大32
- 4ゾーン: 最大16

### フルメタルシャーシ

- これまでにないほどの厳しいテストをすべてクリアしたパーツを採用。
- 滑らかな曲線をメタルで作成。
- 性能と信頼性を追求して設計され、かつてないほどの強靭さと軽量化を実現。



便利なアプリケーションソフトを用意 (→p.19, p.37)

- 96kHz, 64チャンネル/42バス
- 超低レイテンシー (0.7ms) を実現したXCVI Core搭載
- 設定可能なミックスバス構成
- 2つの15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーンを搭載
- 12×RackExtra FXスロット (専用ステレオリターン付き)
- 16×DCA (Digitally Controlled Amplifier)
- ユーザーが設定可能なロータリーコントロール
- 24×アサインナブルソフトキー
- フルアサイン可能なレイアウト
- 144本のフェーダーストリップ (24本のフェーダー、6つのレイヤー)、右端4本は設定でマスターフェーダーへ設定可能
- SLinkポート、12XLR入力/12XLR出力、1AES入力/2AES出力、2つのI/Oポート (96kHz、128×128)、BNCワードクロック搭載
- ステレオ再生/録音用の内蔵ストレージ、USBステレオ再生
- 寸法 (W×H×D): 917×269×627mm、質量: 約26kg。



# Avantis dPack (有償プラグイン)



Avantisに搭載された強力なプロセッシング・ツールでほとんどの要求に対応できますが、dLiveで使用されているプロセッシングを導入することで、表現力をさらに向上できます。

## dPACK - DEEP

※dPackに含まれています。

DEEPは、プラチナセラーのアーティストのツアーで使用されている、優れたプラグインです。

信じられないようなエミュレーションを、Avantisの入力チャンネルとミックスチャンネルにゼロレイテンシーで直接アサインします。

FXスロットを使用せず、サードパーティの機材に煩わされることなく、レイテンシーや位相の整合性の問題もありません。

- ▶ DEEP Compressors
- ▶ DEEP Expanders
- ▶ DEEP Preamp



## dPACK - DYN8

※dPackに含まれています。

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド・コンプレッションを備えたパワフルで洗練されたプロセッサーです。

dPackでは、16のDyn8エンジンを入力チャンネルやミックスチャンネルにインサートすることができます。

サブグループをタイトにしたり、ボーカルの調整やミックスへのグルー感の追加など、様々な用途に使用できます。

- ▶ 16×Dyn8 instances



## Avantis Free Pack

(無償プラグイン)

無償のプラグインとして、Graphic EQ3モデルとTube Stage Preampが追加できます。

### ▼DEEP GEQ

DEEP GEQは、28バンドの精密なグラフィックイコライザーで、+/-12dBのブーストとカットが可能。メインのLRミックスとすべてのAUX、グループ、MTXに対応しています。

- ▷Proportional Q
- ▷Digi-EQ
- ▷Hybrid



### ▼DEEP Preamp

dLiveの真空管プリアンプモデル「Dual Stage」のエンジンを利用しており、6つのプリセットとシンプルなコントロール・セットにより、非常に繊細な色付けからハーモニックなオーバードライブまで、本物のチューブ・キャラクターを素早く設定することができます。

- ▷Tube Stage



## RackExtra FX 12個の専用FXラック。

ALLEN & HEATHは、こだわりに近い情熱を持って、定評あるアウトボード機器にインスパイアされた一連のFXを作成。1チャンネルに12個のスロットのうち1つだけを使用します。12個のFXスロットはそれぞれ専用のステレオリターンを備えているため、入力チャンネルを無駄にしません。

- |                        |                    |                       |
|------------------------|--------------------|-----------------------|
| ▶ SMR Reverb           | ▶ Gated Verb       | ▶ Flanger             |
| ▶ Stereo Tap Delay     | ▶ ADT Doubler      | ▶ MOO 12 Stage Phaser |
| ▶ Bucket Brigade Delay | ▶ Chorus           | ▶ De-Esser            |
| ▶ Echo                 | ▶ Symphonic Chorus | ▶ Dimension Chorus    |

※dPackを購入すると、以下のFXも追加されます。

- ▶ Transient Controller
- ▶ Hypabass



### Option

#### AVANT-BRKT

オープンプライス

Avantis MixPadを搭載したダブルレット端末を装着するブラケット。タッチスクリーンでのコントロールと視認性の向上に最適。



#### AP12151

オープンプライス

ダストカバー。& Avantisロゴが印象的。



#### ●パーソナル・ミキシングを簡単にアドオン

ME PERSONAL MIXING SYSTEM (→p.32)

#### ●リモートコントロールも可能 (→p.38)



# Connecting to Avantis

## Avantis



### Network Port

IPコントローラー(→p.38)やネットワークハードウェアなどに接続



拡大

### SLink Port

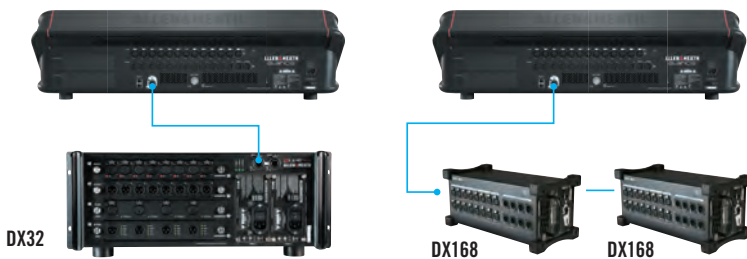
I/O拡張ユニットやMEシステム(→p.32)に接続

### 最大384×384ch:DX/GX接続

SLink	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
	DX Hub	(128×128)
	GX4816	(128×128)
I/O Port 1	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)
I/O Port 2	DX Link	(128×128)
	gigaACE→DX Hub	(128×128)
	gigaACE→GX4816	(128×128)

注意) I/OポートのgigaACEと本体のSLinkを使用してリダントを組むことはできません。

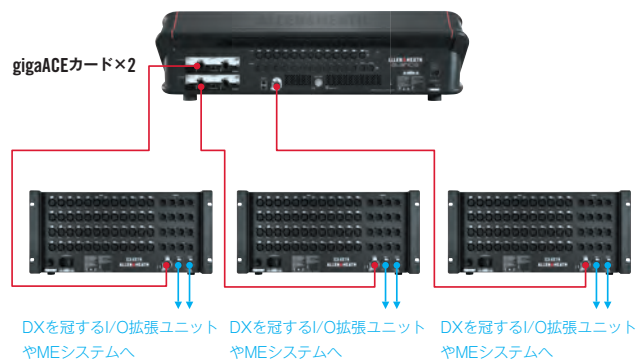
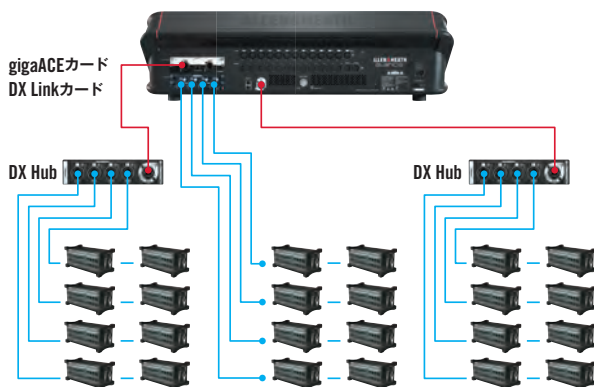
## Avantisへの接続例



SLinkポートを使用すると、1台のDX32または最大2台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットを直接接続できます。

SLinkポートとI/Oポートを利用して、最大2枚のDX Linkカード、またはgigaACEカードとDX Hubを最大2組構成すると、最大24台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットの接続が可能です。

SLinkポートを利用し、I/OポートにgigaACEカードを2枚装着すると、3台のGX4816の接続が可能です。



# Software dLive / Avantis

## Director

システム構築ソフトウェア

ノートPCやタッチタブレットを使って、ルーティング、I/Oパッチ、Surfaceレイアウト、シーンの設定、バスコンフィグの設定、ネットワークの設定などのシステム構築を可能にします。

※MacとWindows OS (Windows Surface Proを含む) に対応。

for dLive for Avantis



ALLEN & HEATHのウェブサイトから無料でダウンロードできます。

### オフライン

dLive Director/Avantis Directorのオフラインモードでは、エンジニアが移動中にシステムの設定を行える最適なツールです。飛行機やツアーバス、オフィスなど、本番前にシステムの設定ができます。ゲストエンジニアから送られてきたShowファイル編集してからUSBキーに移し、会場でコンソールに読み込むこともできます。また、操作方法を網羅した便利なトレーニングツールでもあり、初めてdLive SurfaceやAvantisを手にしたときにも、自信を持ってミキシングを始められます。



### オンライン

オンライン・モードでは、コンソールの完全なりモート・コントロールを可能にします。エンジニアはミックス・ポジションから解放され、会場のどこからでも変更を行うことができます。また、異なる作業を同時に行うことができるので、あるエンジニアがSurfaceでFOHのサウンドチェックを行い、別のエンジニアがステージ上でラップトップやタブレットを使ってモニターミックスのダイヤル操作を行うことも可能です。

## MixPad

エンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール



### iPadでワイヤレスミックス

MixPadは、ミキシングやプロセッシングをコントロールするエンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール。客席やステージを自由に歩き回り、必要な場所からサウンドをコントロールすることができます。

MixPadとdLive Surface/Avantisを連動させることで、それぞれの機能を同時にコントロールすることができます。

例えば、ひとりのエンジニアがSurfaceを使ってFOHのサウンドをミックスし、もうひとりのエンジニアがiPadを使ってステージモニターをミックスすることができます。また、複数のiPadを接続し、それぞれを独立してコントロールすることも可能です。

#### コントロール可能な機能

- フェーダーレベル、ミュート、パン
- AuxとFXのセンド、ルーティング、Pre/Postの切り替え
- FXタップテンポ、グローバルタップテンポ
- マトリックスセンド、ルーティング、プリ/ポストの切り替え
- DCAマスターとアサイン
- プリアンプのゲイン、パッド、48V
- トリムとボラリティ
- HPF、ゲート、PEQ、GEQ、コンプ、ディレイ
- RTA機能
- チャンネル名とカラー
- PAFLセレクト
- フルシグナルメーター
- チャンネルレイアウトを自由に變更できるカスタムストリップ

for dLive for Avantis



Download on the App Store  
App Storeから無料でダウンロードできます。

## OneMix

パーソナル・ミキシング・アプリ



OneMixは、dLiveとAvantisのパーソナル・ミキシング・アプリです。管理者がWi-FiでdLiveやAvantisに接続して複数のiPadをセットアップ。他のモニターやFOHのミックスに影響を与えることなく各ミュージシャンにカスタマイズされたパーソナル・モニターを提供できます。また、演奏者も自分のモニター・ミックスを自分の好みに調整できます。

#### コントロール可能な機能

- **ユーザーとしてログオンすることで、個別のコントロールが可能。**  
モニター(Aux)のマスターレベルとミュート  
モニターマスターのPEQ、GEQ、Comp  
モニターへのセンドレベルとステレオパン  
センドミュート、ゲート、PEQ、GEQ、Comp
- **管理者としてログオンすることで、カスタムセットアップが可能。**  
ユーザーを識別するためのOneMixセッション名の設定  
Aux (モニター) ミックスの選択  
My Mix レイヤーと最大3つのカスタムレイヤーの割り当て  
センドの割り当てー入力、FXリターン、グループ  
DCAマスターのアサイン  
各レイヤーに名前を付ける  
レイヤーごとのプロセッシングやミュートの有効化/無効化 など

for dLive for Avantis



Download on the App Store  
App Storeから無料でダウンロードできます。

## MIDI Control

PC上のDAWソフトウェアをコントロール



Mac OSまたはWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、それをミキサーに接続します。

- HUIやMackie ControlのプロトコルをエミュレートすることでMac OSやWindows上のDAWソフトウェアをコントロール。また、MIDIプロトコルに基づいてミキサーをコントロールすることも可能。
- デジタルミキサーのコアと直接MIDIメッセージを送受信し、ミキシングパラメータやシーンチェンジなどの機能をリモートコントロールできます。
- 標準的なCCメッセージを使用して、最も一般的なミキサーパラメータをコントロールし、自動化できます。



ALLEN & HEATHのウェブサイトから無料でダウンロードできます。  
<https://www.allen-heath.com/midi-control/>

## Custom Control for dLive/Avantis

(→p.37)



# ALLEN & HEATH独自の AoE (Audio over Ethernet) プロトコル

ALLEN & HEATHが独自に開発したAoEプロトコルは、デジタル・ミキシングシステムとI/O拡張ユニット間をシームレスに動作するように設計されており、デジチーチェーン型とスター型の両方のトポロジーを利用して、柔軟な音声分配とI/O機器の配置を可能にしています。

各接続はCAT5e以上のケーブルを使用して最大100m、光ファイバーを使用すればそれ以上の長さも可能で、小規模な会場から大規模なキャンパスまで、あらゆる規模のアプリケーションに対応できます。

各プロトコルの制御には、応答性の高いレイヤー2プロトコルを使用しており、高速な接続と即時の動作を実現しています。オーディオと同時に制御データも送信。拡張ユニットの接続時に適用され、ファームウェアのマッチングも自動で行われます。gigaACEでは1000BASE-T (ギガビットイーサネット)、GX、DX、dSNAKEでは100BASE-TX (ファストイーサネット) です。

## SLink とは?



SLinkは、gigaACE、GX、DX、MEでの接続に対応したマルチプロトコルポートで、接続されたものに応じて自動的にモードを切り替えるインテリジェントなポートです。

接続された機器を感知し、それに応じてモード、ビットレート、チャンネル数、サンプルレートを自動で切り替えます。また、デジタルスプリット用途やDX Hubとの接続などにも対応しています。

## gigaACE



gigaACEは、ギガビット・イーサネットをベースに、96kHz、24bitで128×128チャンネルを提供するプラグアンドプレイシステムです。dLive SクラスのMixRackとサーフェス、およびオプションの「gigaACE」カードの使用時には、2つのリンクは常に稼働しており、どちらかのリンクにエラーが発生した場合やリンクが完全に失われた場合でも、音声や制御情報の損失はなく、シームレスなリダンダントを実現します。

制御メッセージに加えて、一般的なTCP/IPデータを双方向にブリッジングまたは「トンネリング」することができます。これにより、ネットワーク接続されたアンブワイヤレスレシーバー、DMX over Ethernetなど、システム内に組み込まれた他のネットワーク対応機器の制御メッセージを、1本のケーブルで接続するだけで伝送できます。

※gigaACEプロトコルは、GX / DX / SLinkの各ポートと接続可能。この場合、96kHzで128×128チャンネルを伝送します。レイヤー2のプリアンプコントロールと自動ファームウェアマッチングは提供しますが、イーサネットトンネリングはありません。

## GX



GXプロトコルのポートは、96kHzで128×128チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。

## DX



DXプロトコルの各ポートは、96kHzで32×32チャンネルと制御データを伝送。接続時にDX拡張ユニットに設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。ペアでシームレスにリダンダント化するリダンダントモードと最大2台のDX拡張ユニットをデジチーチェーン接続できるカスケードモードのいずれかで動作。

## ME/dSNAKE



MEおよびdSNAKEプロトコルは、48kHzでそれぞれ0×40および40×40チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。各ME接続は、デジチーチェーン接続やME-UまたはPoEハブを介して、無制限の数のMEデバイスを接続できます。

	gigaACE (to gigaACE)	gigaACE (to DX Hub, GX または to/from SLink)	DX	ME dSNAKE
イーサネット	1000Base-T (Gigabit Ethernet)		100Base-TX (Fast Ethernet)	
サンプリングレート	96kHz			48kHz
チャンネル数	128* *dLive Surface とMixRack のリンクは300×300 ch以上	128	32	40
トンネリング	✓	—	—	—
リダンダンシー	✓	—	✓	—
ファームウェア自動マッチング	—	✓	✓	✓
レイテンシー	5samples (52us)	5samples (52us)	8samples (83us)	4samples (83us)
ケーブル長	<100m			

# Networking Card dLive / Avantis

dLiveやAvantisのI/Oポートに挿入し、ネットワークを構築するオプションカード。  
オーディオのリダントや必要な場所へI/Oの増設など、使用目的に応じて選択できるカードを多数用意しています。

## ALLEN & HEATH Prietary AoE Protocol



**M-DL-GACE(gigaACEカード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 5サンプル(52us)の超低トランスポートレイテンシー
- デュアルリダントダンシー
- 切り替え可能なコントロールネットワークブリッジ



**M-DL-GOFT(fibreACEカード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力、96kHz
- 3つの動作モード
  - ▷ Copper - CAT5e以上
  - ▷ Fibre - Neutrik OpticalCon Duoマルチモード
  - ▷ Convert - dLive MixRackとSurface間のリンクを光ファイバーに変換
- 5サンプル(52us)の超低遅延伝送
- デュアルリダントダンシー
- 切り替え可能な制御ネットワークブリッジ



**M-DL-DXLINK(DX Linkカード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 4つのDXリンクポート
- ロック機能付きetherCONコネクタ
- DX32、DX168、DX164、DX012、DX88-Pに対応
- 最大128入力、128出力
- リダントまたはパラレル接続モード
- 96kHzサンプルレート

## Standard format



**M-DL-WAVES3(WAVES3カード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 128入力、128出力
- サンプルレート切替、48/96kHz
- Waves SoundGridネットワークプラグイン・プロセッシング、オーディオ・ディストリビューション、デジタル・マイク・スプリットなど
- マルチトラックの録音と再生
- 複数のデバイスを接続できる統合3ポートEthernetスイッチ
- Waves V2およびV3カードとの入力共有



**M-DL-SMADI(SuperMADIカード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 8×BNC(4リンク)
  - 8×SFPスロット\*(モジュールは含まず)
  - リンクごとにサンプルレートを切り替え可能 48/96kHz
  - ベアごとに切り替え可能なリダントダンシー Smux / High-Speed
  - 128 I/O(コアキシャル/オプティカル)、96kHz
  - 96kHzモードはSmuxまたはHighSpeedのいずれかを選択可能
- \*マルチモードまたはシングルモードのLCを使用可能



**M-DL-AES2in8out-A(AES3カード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 2in 8out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



**M-DL-AES4in6out(AES3カード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 4in 6out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



**M-DL-AES6in4out(AES3カード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 6in 4out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



**M-DL-AES10out(AES3カード)** オープンブライズ

dLive/Avantis

オーディオ・ネットワーク・カード

- 10out
- サンプルレート切り替え可能 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz~192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション



**M-DL-ADAPT(Audio Interface)**

オープンブライズ

オーディオインターフェース

- M-Dante、M-Waves、M-ES-V2、M-ACE、M-MADIなど、iLive / GLDで使用されていたネットワークカードを搭載できるインターフェース。
- 48kHzで動作する64×64チャンネルのインターフェース。サンプルレートはインターフェースモジュール内でシームレスに変換。

※写真はM-Danteオーディオネットワークカード装着時

SQ

## 48ch、36バス 96kHz、XCVI Core採用 フェーダー数とローカルI/O数の異なる3モデル



### SQ-7

オープンブライズ

- フェーダーストリップ:192 (32フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:32マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:32+トークバック
- 出力:16ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:8
- 寸法 (W×H×D):804×198×514.9mm、質量:約17.8kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を最大2台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット  
AP11334:ダストカバー



### SQ-6

オープンブライズ

- フェーダーストリップ:144 (24フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:24マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:24+トークバック
- 出力:14ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:4
- 寸法 (W×H×D):638×198×514.9mm、質量:約14.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット  
AP11333:ダストカバー



### SQ-5

オープンブライズ

- フェーダーストリップ:96 (16フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:16マイク/ライン、3ラインST (TRS) (2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:16+トークバック
- 出力:12ライン (XLR)、2ラインST (TRS)、1AES
- ソフトキー:8
- 寸法 (W×H×D):440×198×514.9mm、質量:約10.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。
- オプション金具を使用して標準的な19インチラックにマウント可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット  
SQ-5-RK19:ラックマウントキット (→p.25)  
AP11332:ダストカバー

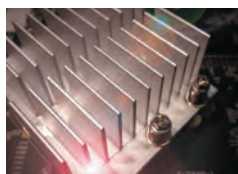
#### 共通性能

- 96kHz、48チャンネル/36バス
- 超低レイテンシー(0.7ms)を実現したXCVI Core搭載
- 各入力チャンネルに、プリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイ付き
- 12ステレオミックス+LR、3ステレオマトリックス
- 8ステレオFXエンジン (専用リターンチャンネル付き)

- マルチチャンネルUSBストリーミングおよびUSBドライブへのダイレクトレコーディング
- トークバックマイク入力、フットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール
- オプションで、dLiveで使用されているDEEP ProcessingやRackExtra FXの中の複数のコンプレッサー、イコライザー、プリアンプなどの使用が可能。

#### XCVI Core搭載

最新の96kHz FPGA XCVIコアを搭載。原音に忠実な高解像度のオーディオをクラス最高レベルの0.7ms未満のレイテンシーで提供するSQ Seriesは、コンパクトなデジタルミキサーの新しい基準となります。



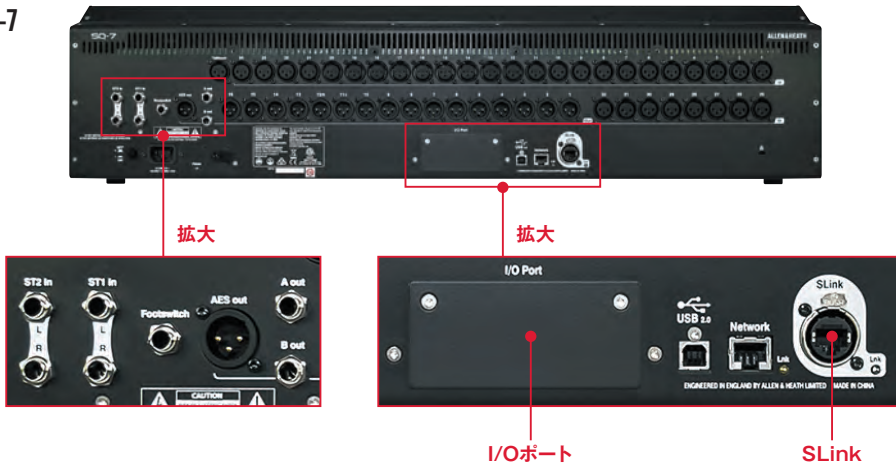
#### シンプルかつ優れた操作性

- 視認性に優れ、直感的なコントロールを可能とした7インチ・タッチスクリーン搭載。
- 各ストリップには、特許取得済みのクロマチック・チャンネルメータリングシステムを搭載。明るさと色が変化するLEDにより抜群の視認性を獲得。
- チャンネルとミックスは任意のストリップにドラッグ&ドロップでき、カラーストリップにカスタム名とカラーコーディングの表示が可能。

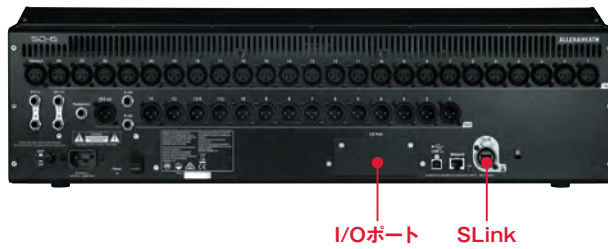


# Connecting to SQ Series

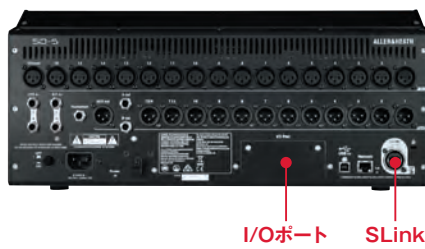
SQ-7



SQ-6



SQ-5



## Networking Card



**M-SQ-DANT64**  
(Dante64×64カード)

オープンブライズ

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



**M-SQ-SLINK (SLinkカード)**

オープンブライズ

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。



**M-SQ-WAVES3 (WAVESカード)**

オープンブライズ

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。



**M-SQ-MADI (MADIカード)**

オープンブライズ

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

### 最大256×256ch:DX/GX接続

SLink	DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
	DX Hub	(128×128)
	GX4816	(128×128)
I/O Port	SLink I/O Module→DX32	(32×32)
	SLink I/O Module→2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P	(32×32)
	SLink I/O Module→DX Hub	(128×128)
	SLink I/O Module→GX4816	(128×128)

※DX32を接続するためには、SQ SeriesのファームウェアV1.4 以上が必要です。  
※SQはDXリダントには対応していません。

※I/O拡張ユニットは、p.26~を参照してください。

# Processing & FX

## ●パワフルプロセッシング

- 各チャンネルに、HPF、サイドチェーンとフィルターを備えた超高速ゲート、サウンドに躍動感を生み出す4バンドパラメトリックイコライザー、RMSコンプレッサーを装備。
- ミックスには、パラメトリック・イコライザー、28バンドのグラフィック・イコライザー、コンプレッサーを装備。



## ●ワールドクラスのFX

8つのステレオFXエンジンを搭載しており、定評のあるRackExtraライブラリも完備。各エンジンには専用のステレオ・リターンが用意されているので、48の入力チャンネルを無駄にしません。

- ▶ Spatial Modelling Reverb (SMR)
- ▶ Stereo Tap Delay
- ▶ ADT Doubler
- ▶ Chorus
- ▶ Symphonic Chorus
- ▶ Flanger
- ▶ MOO 12 Stage Phaser
- ▶ Gated Verb

## ●アドオン・プラグイン (有償)

数々のワールドツアーで国際的なアーティストに使用され、数々の受賞歴のあるdLiveのDEEPプロセッシングがSQで使用可能になりました。また、RackExtra FXにもアイテムを増やすことができます。

### DEEP Compressors

Peak Limiter 76

16T

16VU

Mighty

Opto

### DEEP Preamps

Tube Stage Pre (無償)



ブックフェイスもあり

### DEEP GEQs

Proportional Q

Di-Gi-Q

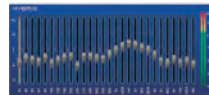
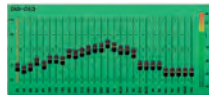
Hybrid

Constant-Q

### RackExtra FX-Tools

MultiBD Compressor 4

MultiBD Compressor 3



### RackExtra FX-Tools

DynEQ4

De-Esser

### RackExtra FX-Effects

Echo

Hypabass

Bucket Brigade



# for PROFESSIONAL Performance

## ●AMM (Automatic Mic Mixer)

AMMは、スピーチを主とする会議、パネルディスカッション、劇場、放送など、多数のマイクを使用する状況で、マイクチャンネルのレベルを自動的にコントロールする機能です。

SQ SeriesのAMMは、D-Classicゲイン・シェアリング・アルゴリズムを使用して、アクティブなチャンネルのレベルを上げると同時に、割り当てられた他のチャンネルのレベルを下げます。また、特定のマイクを他のマイクよりも優先させるプライオリティレベルの設定も可能です。

最大24チャンネルのAMMを2つ搭載しています。2つのゾーンに24チャンネルずつ使用したり、大規模イベントでは1つのゾーンに48チャンネルを使用できます。



## ●MEパーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するMEパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。明確でシンプルなコントロールで各パフォーマンスに最適なサウンドを提供。セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。(→p.32)



## ●IEMミキサーとして

12×ステレオミックス、超低レイテンシー、すべてのミックスにパラメトリックとグラフィックの両方のEQを搭載。インイヤーマニターのセットアップに最適です。





●録音・再生、ストリーミングを可能にする  
USBインターフェースを搭載

■32×32、96/48kHz、24bitのオーディオインターフェースにより、マルチトラックレコーディング、バックトラック再生、ライブストリーミング、バーチャルサウンドチェックが可能。

■SQ-Drive:USB-A

ステレオ/マルチトラックの録音・再生(フルバッチ)が可能。

16ch@96kHz、32ch@48kHz

※SQ-Driveのオーディオレコーディングおよびマルチトラック再生は、高い持続転送レートをサポートするUSBストレージデバイスである必要があります。一般的なUSBキーマモリは、BGMでの簡易的な再生には便利ですが、ほとんどの場合長時間の録音などで安定した持続性を得られません。

■USB Audio Streaming:USB-B

32×32、48/96kHz

■インターフェースはMac OS Xのクラスに準拠。Logic、Cubase、Reaper、ProToolsなどのCoreAudioをサポートするDAWで認識され、プラグアンドプレイが可能。WindowsではASIO™とWDMに対応したドライバーを用意。

■無償のMIDI Control ソフトウェアを使用して、一般的なDAWのフェーダーにマッピング可能。



MIDI Control ソフトウェア(無償)

MIDI Controlは、Mac OSやWindowsで仮想的MIDIポートを作成し、それをミキサーに接続することで動作。  
(→p.19)



## SQ APP



### SQ MixPad

ミキシング機能のオンラインコントロールやオフラインでの編集が可能。

■オンラインモードでは、主なミキシング機能を有線または無線でコントロールできます。エンジニアは異なるリスニングポジションからのミキシングが可能になり、ステージからのモニターミックスの設定、あるいはローカルコントロールを追加できます。

■オフラインモードでは、シーンやショーの保存・管理、ストリップアサインやチャンネルリストの編集、USBデバイスへのファイル転送(PCとMacのみ)、ミキサーとの間でショーを直接プッシュ/プルできます。

※iOS、Android、Windows、MacOSの各プラットフォームで利用可能。



### SQ4You

SQシリーズのパーソナル・ミキシング・アプリ。

■最大8人のパフォーマーが自分のモニター・ミックスをAndroidまたはiOSデバイスからコントロールできます。

■12のモノラルまたはステレオミックスから選択

■コントロールするソースの割り当て(チャンネル、FXリターン、グループ)

■チャンネルの番号、名前、メーターの表示

■ミックスのマスターレベル、ミュート、PEQ、GEQ、コンプレッサーのコントロール

■ミックスセンドのレベルとパンのコントロール など



※接続可能なSQリモートアプリの最大数は8で、SQ-MixPadは最大2つです。例えば、SQ-MixPadを2つ、SQ4Youを6つ、またはSQ-MixPadのインスタンスを1つ、SQ4Youのインスタンスを7つ接続することができます。

### Option

#### SQ-BRACKET

オープンブライス

SQの後部にSQ MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。SQ-5とSQ-6は1枚、SQ-7は2枚装着可能。スチール製。



#### ダストカバー

オープンブライス

ポリエステル製のフィット感のある黒の撥水性ダストカバー(スクリーン印刷によるロゴ入り)。

AP11334:SQ-7

AP11333:SQ-6

AP11332:SQ-5



#### SQ-5-RK19

オープンブライス

SQ-5用ラックマウントキット。標準的な19インチラックにマウント可能。



# I/O Expander

入出力数を増やしたり、離れた場所で入出力が必要となった場合など様々なシチュエーションに対応できるI/O拡張ユニット群。充実したラインナップで、最適なシステムを簡単に構成することができます。シリーズをまたぐシステムでも使用できます。



拡大

## GX4816 5U

オープンブライズ

### ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 48マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、16ライン出力、96kHz、GXポート×1、DXポート×2（A / B）
  - ラックマウント（5U）可能
  - AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大90W
- ▶GX: gigaACE (dLive) / SLINK (Avantis/SQ) (128×128)  
 DX 1:DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P (32×32)  
 DX 2:DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P (32×32)  
 または  
 DX 2:ME パーソナルモニタリングシステム (0×40)  
 ※dLiveに接続している場合、機能しない



拡大

## DX32 4U

オープンブライズ

### ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 4入出力カードスロット、96kHz、電源ユニットMPS16×1（出荷時未装着済み ※電源二重化には計2台必要）
  - 2本のケーブルを使用してリダント接続が可能。
  - ラックマウント（4U）可能。床置きとして使用する場合のプラスチック製の足も付属。
  - AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大300W
- ▶DX A:dLive Surface / MixRack、DX Hub、DX Link card、SLINK  
 リダントを組む場合、  
 DX A、B:dLive S Class Surface / MixRack、DX Hub (×2) / DX Link card

※画像は、リダント電源とオプションのI/Oモジュールを装着しています。

### ▶DX32用I/Oモジュール

高音質  
32bit



#### M-DX32-INPR

オープンブライズ

PRIME Inputカード  
8入力、32bit/96kHz ADCコンバーター搭載



#### M-DL-AIN

オープンブライズ

8マイク/ライン入力、ゲイン、パッド、48Vファンタム電源はプリアンプによるデジタルコントロール。



#### M-DL-DIN

オープンブライズ

4×ステレオAES3入力。サンプリングレート：32-192kHz、96kHzではバイパス。

高音質  
32bit



#### M-DX32-OUTPR

オープンブライズ

PRIME Outputカード  
8出力、32bit/96kHz DACコンバーター搭載



#### M-DL-AOUT

オープンブライズ

8ライン出力、バランスXLRコネクタ。電源のOn/Off時のノイズを防止。



#### M-DL-DOUT

オープンブライズ

4×ステレオAES3出力。XLRコネクタ（96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替）



## DX012 1U

オープンブライズ

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 12出力(切替: 12アナログ、8アナログ+4AES3、4アナログ+8AES3)、DXポート×2 (A / B)
- AES3出力周波数切替 (96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。dLive S ClassやDX Link cardなどの互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- ラックイヤーは前面、背面どちらにも取り付け可能。※出荷時は、前面に取り付け。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

付属品 ラックマウントキット※出荷時取り付け済み



## DX168

オープンブライズ

移動型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力(ファンタム電源ステータスLED付)、8ライン出力、96kHz、DXポート×2 (A / B)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。
- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能 (4U)。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

Option AB1608-RK19:ラックマウントキット  
AP9932:キャリーバッグ



AB1608-RK



## DX164-W

オープンブライズ

埋め込み型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、4ライン出力、96kHz、DXポート×2 (A / B)
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデジチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※マウントフレーム使用。
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源としても使用可能。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大35W

付属品 AA11504:壁面固定用マウントフレーム  
AC直接配線用グラウンドモジュール

# I/O Expander



## DX88-P NEW

オープンブライズ

### ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力 (リコール可能な5~60dBゲイン、ファンタム電源供給、20dB Pad)、8ラインアウト (96kHz対応)
- 固定設備に最適なユーロブロックコネクタ。AHM、SQ、Avantis、dLiveシステムに対応。
- DC12V電源供給
- DX BポートはDX拡張ユニットを最大2台までカスケード可能。
- オプションでラックマウントキットを用意。前面、背面どちらにも取り付け可能で、1Uに2台並べての設置やDX HubやGPIOとの設置も可能。

Option DX88-P-RK19:  
ラックマウントキット



ラックマウント  
関連動画



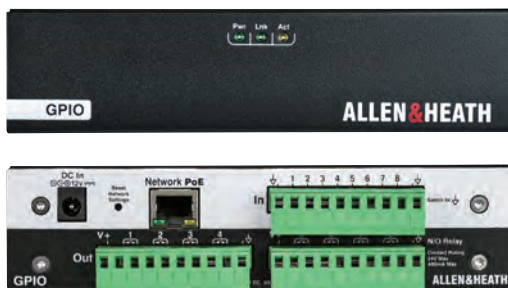
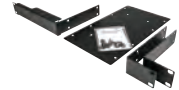
## DX Hub

オープンブライズ

### 拡張HUB

- RJ45 (4DX Linkポート、1gigaACEポート)、AC電源
- 各DX Linkポートには最大2台のDX拡張ユニットを接続可能。
- dLiveやAvantisシステムで使用の際は、複数のDX Hubを使用することで、さらなる拡張やリダンダントが可能。
- AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力:最大5W

Option FULLU-RK19:ラックマウントキット



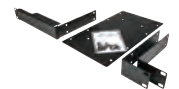
## GPIO

オープンブライズ

### リモートコントロール用の汎用I/Oインターフェース

- フェニックス・コネクタによる8つの光絶縁入力と8つの常開 (N/O) リレー出力。うち1つはノーマルクローズ出力 (N/C) に設定可能。
- 2つの+10V DC出力 (最大500mA) を装備。PoE (IEEE 802.3af-2003) 対応。
- 最大8個のGPIOモジュールをCAT5ケーブルでdLiveシステムに直接または100Mb/sネットワークスイッチを介して接続。
- GPIOの機能は、dLive /Avantis Directorソフトウェア (PC/Mac) またはdLive SurfaceやAvantisを使ってプログラム可能。EVAC (アラーム/システムミュート)、放送 (オンエアライト、フェーダースタートロジック)、シアターオートメーション (カーテン、ライト) など、さまざまな用途に対応。
- オプションのラックマウントキットで、19インチラック (1U/1/2幅) に設置可能。

Option FULLU-RK19:ラックマウントキット





AvantisやSQシリーズで使用可能なI/O拡張ユニット。※dLiveでの使用不可。



## AR2412 3U オープンブライズ

### ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 24マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、12ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、MONITOR (ME) ポート×1、エキスパンダーポート×1
  - dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。
  - MEパーソナルミキサーに接続するモニターポートと、AR84やAB168にデジチェーン接続するエキスパンダーポートも搭載。
  - AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大70W
- ※dLiveシステムでは使用不可。



## AB168 オープンブライズ

### 移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、8ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、エキスパンダー/MEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。また、MEパーソナルミキサーに接続して40chを提供。
- AR2412やAR84へのデジチェーン接続も可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。

- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
  - オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能 (4U)。
  - AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大40W
- ※dLiveシステムでは使用不可。

Option AB1608-RK19: ラックマウントキット  
AP9932: キャリーバッグ



## AR84 1U オープンブライズ

### ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力 (ファンタム電源ステータスLED付)、4ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。

- AR2412やAB168にデジチェーン接続も可能。
  - AC電源100V (3ピンIEC)、50/60Hz、消費電力：最大20W
- ※dLiveシステムでは使用不可。



## CAT6ケーブル

オープンブライズ

ALLEN & HEATHが推奨するプロフェッショナルグレードのCAT6 Etherflexケーブル。用途に合わせて長さを選ぶことができ、すべてNeutrik EtherConロックコネクタ付きです。

- AH10884 20m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON)
- AH10885 50m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)
- AH10886 80m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)
- AH10887 100m CAT6ケーブル (STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き)

## オプティカルケーブル オープンブライズ

### AH10924

150m オプティカルケーブル (マルチモード、NEUTRIK opticalCON Duo、ドラム付き)

# Dante ネットワーク対応製品

## Networking card

dLiveやAvantisをDanteネットワークに接続するためのネットワークカード。  
64×64と128×128を用意。



### M-DL-DANT64 (Dante 64x64カード)

オープンブライズ

- 64chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)の双方向通信が可能



### M-DL-DANT128 (Dante 128x128カード)

オープンブライズ

- 128chのDante I/O (96kHzまたは48kHz)の双方向通信が可能

### Danteオーディオ・ネットワーキング・カード 共通スペック

- リダンダンシーまたはスイッチオーバーションのためのプライマリおよびセカンダリオーディオポート
- コントロール・ネットワークの設定を行うための専用ポート
- dLive/Avantisコントロール・ネットワークとDanteコントロール・ネットワークをブリッジするネットワーク・ブリッジ・スイッチを内蔵
- Dante Virtual Soundcardによるマルチトラックレコーディング
  - ▷ 48kHzで64チャンネル
  - ▷ 96kHzで32チャンネル
- AES67対応
- DDM (Dante Domain Manager) 対応
- 既製のネットワークハードウェアを使用可能

※SQ SeriesでDanteネットワークに接続する場合は、M-SQ-DANT64 (→p.23) を使用してください。

## I/O Expander

Danteネットワークに対応するI/O拡張ラック。  
移動型と設置型の2種を用意。



## DT168

オープンブライズ

### 移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、8ライン出力、96kHz/48kHz、1PSU、2RJ45 (Danteポート Primary/Secondary)
- ラバーパバーとハンドルが付いた持ち運びに便利なモデル。
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デジチェーン接続やリダンダントが可能。
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQ、AHMの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

Option AB1608-RK19: ラックマウントキット  
AP9932: キャリーバッグ



## DT164-W

オープンブライズ

### 埋め込み型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、4ライン出力、96kHz、Danteポート×2 (Primary/Secondary)、DC入力 (3A、12V)
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デジチェーン接続やリダンダントが可能
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※マウントフレーム使用
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源として使用可・AES67対応
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

付属品 AA11504: 壁面固定用マウントフレーム  
AC直接配線用グラウンドモジュール

## DT Preamp Control ソフトウェア

複数のDTユニットのリモートコントロールが可能となり、Danteを搭載したサードパーティ製デジタルミキサーやサウンドマネジメントシステムとDTエキスパンダーの使用が可能となります。

ALLEN & HEATHのウェブサイトから無料でダウンロードできます。

<https://www.allen-heath.com/dt-preamp-control/>



- DT168およびDT164-Wのリモートコントロール
- プリアンプゲイン、+48V、パッドのコントロール
- DT I/O拡張ユニットのファームウェア・アップデートを含む
- ネットワークインターフェースの選択
- 最大16台のDT機器の制御

# I/O Interface

Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍。コンパクトなサイズなので、テーブルや演台の下に設置してローカルマイクを接続したり、ステージ上やFOHで必要な場所にラックマウントしたりすることができます。

## DT20

Dante  
入力インターフェース



## DT02

Dante  
出力インターフェース



### DT20

オープンブライズ

- Dante入力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×コンボジャックのマイク/ライン入力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option

DT-RK19:ラックマウントキット

### DT20-M

オープンブライズ

- 固定設備用Dante入力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×コンボジャックのマイク/ライン入力
- PoE電源 (外部電源なし)
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19:ラックマウントキット

### DT02

オープンブライズ

- Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option

DT-RK19:ラックマウントキット

### DT02-M

オープンブライズ

- 固定設備用Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源 (外部電源なし)
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19:ラックマウントキット

## DT22

Dante  
入出力インターフェース



### DT22-M

オープンブライズ

- 固定設備用Dante 入出力インターフェース、48kHz/96kHz
- ユーロブロック・コネクタ、2入力×2出力
- PoE電源またはDC12V
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具 (DT-SMK) 付属

Option

DT-RK19:ラックマウントキット

### Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍！

- ・標準的なイーサネットケーブル1本でDanteネットワークに組み込めるうえ、PoE給電に対応。
- ・テーブルや演台の下などAC電源を確保できないシチュエーションでの運用を想定。
- ・いずれもDDM (Dante Domain Manager)、AES67に対応。

### ▼DT20を使用した例



### ●「-M」モデル用取付金具



※画像はDT02-Mを使用

サーフェスマウント金具

### DT-SMK

オープンブライズ

-Mのつく固定設備用モデルの付属品。スベアとして購入可能。

取付面は、上下どちらにも装着可能。



※画像はDT02を2台使用

ラックマウントキット

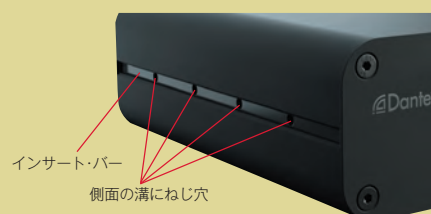
### DT-RK19

オープンブライズ

2台までのDTシリーズを取り付け可能。

## 固定設備用「-M」モデルについて

DT02-M、DT20-M、DT22-Mは、側面の溝にインサート・バーが取り付けられています。インサート・バーのねじ穴を使用して、付属のサーフェスマウント金具を取り付けます。



# Personal Monitoring System

明確なビジュアルフィードバックによるシンプルなコントロールで各パフォーマンス者に最適なサウンドを提供。セットアップを迅速化し、サウンドチェックを円滑に行えます。



## ME-1

オープンブライズ

### 40chパーソナル・ミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた40の入力
- 調光可能な有機ELスクリーンと16×バックライト付きアサインパネル
- コンソールのバスを使用せずにME-1内でグループ化が可能
- 16ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存して、任意のME-1ユニットで呼び出すことも可能。
- すべてのチャンネルとグループにカスタムネームを表示。コンソールに接続するとコンソール側から自動的に取得。
- マスター3バンドEQとリミッターを搭載
- MP3プレーヤー、クリップトラックなどのAUX入力を装備
- アンビエントマイク、シグナルジェネレーター搭載
- ヘッドホン出力 (TRS, ミニ)
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用



#### 仕様

- 周波数特性: 20Hz~20kHz (+0/-1dB)
  - AD/DA変換: 24bit, 48kHz
  - 残留出力ノイズ: -95dBu
  - ヘッドホン出力: 300mW+300mW@100Ω 負荷, 最大: +21dBu
  - モノ出力: 平均0dBu / 最大+18dBu
  - Aux入力: 平均-8dBu / 最大+10dBu / インピーダンス > 10kΩ
  - PoE (802.3af: 15.4W) またはPoE+ (802.3at: 30.0W)
  - PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)
  - 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
  - 寸法・質量: W227×H68.5×D160mm, 1.1kg
- 付属品  
マイクスタンドブラケット、ヘッドホンハンガー
- Option  
IP6-ME-MOUNT: ウォールマウントブラケット

## ME-500

オープンブライズ

### 16chパーソナル・ミキサー

- レベルとパンコントロールを備えた16モノラル/16ステレオ入力
- マスター2バンドEQとリミッターを搭載
- ミキサーからアサインされた最初の16個のモノラル/ステレオチャンネル、およびミックスは、16個のセレクトキーに自動的に割り当て
- 8ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存でき、他のME-500へ簡単に転送可能。
- ヘッドホン出力 (TRS, ミニ)
- ソロ、ミュートキー
- 主電源またはPoE電源
- デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用
- マイクスタンドブラケットとヘッドホンハンガーは別売りです。



#### 仕様

- 周波数特性: 20Hz~20kHz (+0/-1dB)
  - AD/DA変換: 24bit, 48kHz
  - 残留出力ノイズ: -95dBu
  - ヘッドホン出力: 300mW+300mW @ 100Ω 負荷, 最大: +21dBu
  - PoE (802.3af: 15.4W) またはPoE+ (802.3at: 30.0W)
  - PoE要求性能: PoE時、下限10W (PoE ハブでは15W)
  - 外部電源: 入力: 100V AC, 50/60Hz / 出力: 12V DC, 1.25A
  - 寸法・質量: W227×H70×D160mm, 1.1kg
- Option  
AB8999: マイクスタンド取付ブラケット  
AA8705: ヘッドホンハンガー  
IP6-ME-MOUNT: ウォールマウントブラケット

## ME-1とME-500 どちらを選ぶ？

似たような外見のME-1とME-500ですが、ユーザーやシチュエーションにより使い方が異なります。

チャンネル数が多くリハーサル時間が十分にあるショー、専属のアーティストが常駐する結婚式場や多目的ホールでは、ME-1を使用することで、エンジニアは各アーティストの好みやニーズを完璧に反映させて各ユニットを構成できます。

フェスティバルなどエンジニアとアーティストのサウンドチェックの時間が限られている場合、または予算が限られている場合やチャンネル数が少ない場合には、ME500がお勧めです。最小限の手間でショーを立ち上げることができます。







# ME-U 2U

オープンブライズ

## パラレル接続用10ポートPoEモニターハブ

- ロッキング機能付きEthernetコネクタを10ポート搭載
- 各ポートからME-1またはME-500に電源と音声を供給。  
ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。
- 2つのハブをリンクしてポートを増設
- ツアリンググレードの高品質
- ラックマウント可能 (2U)
- 接続されたME-1は、SQやdLiveのミキサーからチャンネル名を自動的にピックアップ
- ユニット名とIPアドレスをブラウザで設定し、チャンネル名を手動で入力可能
- オプションカードを使用することで、他社のデジタルコンソールとの接続も可能

### 仕様

- 電源: 100V AC, 50/60Hz
- 消費電力: 250W
- 動作気温範囲: 5°C-35°C
- PoE性能: 15W (各ソケット)
- 寸法・質量: W482.6×H93×D253mm, 4.6kg

## ● Option Card



### M-MADI2-A オープンブライズ

MADIインターフェースカード。48kHz対応。64MADI (BNC)。  
※ME-Uで使用する場合、中央のAUX端子と右のMADI LINK2 (IN/OUT) 端子は使用不可。



### M-DANTE オープンブライズ

Danteインターフェースカード。64×64入出力、48kHz対応、RJ45ポート(Control Network, Dante Primary/Secondary)。



MOD-DMI-ME



### DiGiCo社ミキサー専用MEカード

DMIスロット装備のDiGiCoミキサーにMOD-DMI-MEカードを挿入するとMEシステムが使用できます。

## ● 接続例

### ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用しない場合

ME-1とME-500は、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSNAKE、Monitorの各ポートに直接接続可能。  
複数のME-1およびME-500をデジチェーン接続可能です。  
※各ユニットに外部電源が必要。



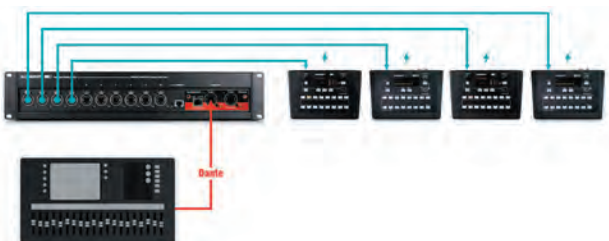
### ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用した場合

ME-Uは、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSNAKE、Monitorの各ポートに直接接続できます。ME-Uに直接接続されたME-1およびME-500には、PoE経由で電源が供給され、ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。10ポート以上が必要な場合は、複数のME-Uハブをデジチェーン接続できます。



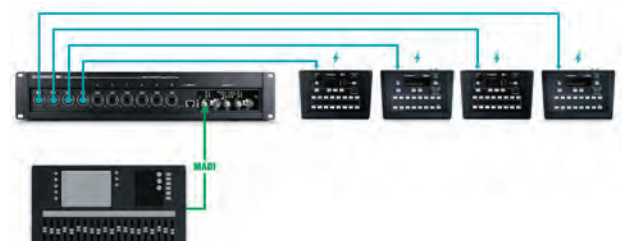
### ME-Uに「M-DANTE」カードを使用した場合

Dante接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



### ME-Uに「M-MADI2-A」カードを使用した場合

MADI接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



# AHM

優れた性能でマルチゾーンの音響を制御するオーディオ・マトリクス・プロセッサ。カスタマイズ可能なインターフェースで操作も簡単。



## AHM-64 2U

オープンブライズ

64×64プロセッシング・マトリクス  
12×12ローカルアナログI/O



## AHM-32 1U

オープンブライズ

32×32プロセッシング・マトリクス  
12×12ローカルアナログI/O



## AHM-16 1U

オープンブライズ

16×16プロセッシング・マトリクス  
8×8ローカルアナログI/O

## AHM-64 / -32 / -16

### ●マルチゾーンの音声制御を構築

劇場、企業、小売店、商業施設、病院、教育機関など、マルチゾーンの音声制御を必要とする施設で優れた性能を発揮します。多数のI/O拡張ユニットやリモートコントローラー、Danteネットワークに対応するカードなど様々なオプションを組み合わせて、ユーザーが必要とする最適なシステムを構築可能。

### ●96kHzの高音質、低レイテンシー

次世代のFPGA技術を使用して開発された高品位なプロセッサ。きわめて低いレイテンシーでサンプリングレート96kHzの高音質を提供します。

### ●システムを簡単に操作

スマートなGUIを持つAHM System Managerは、特別なトレーニングを受けなくてもパワフルなオーディオ・システムの構築が可能。Custom Controlは、会場を使用するユーザーのオーディオスキルやデバイスに合わせたわかりやすい画面を提供します。

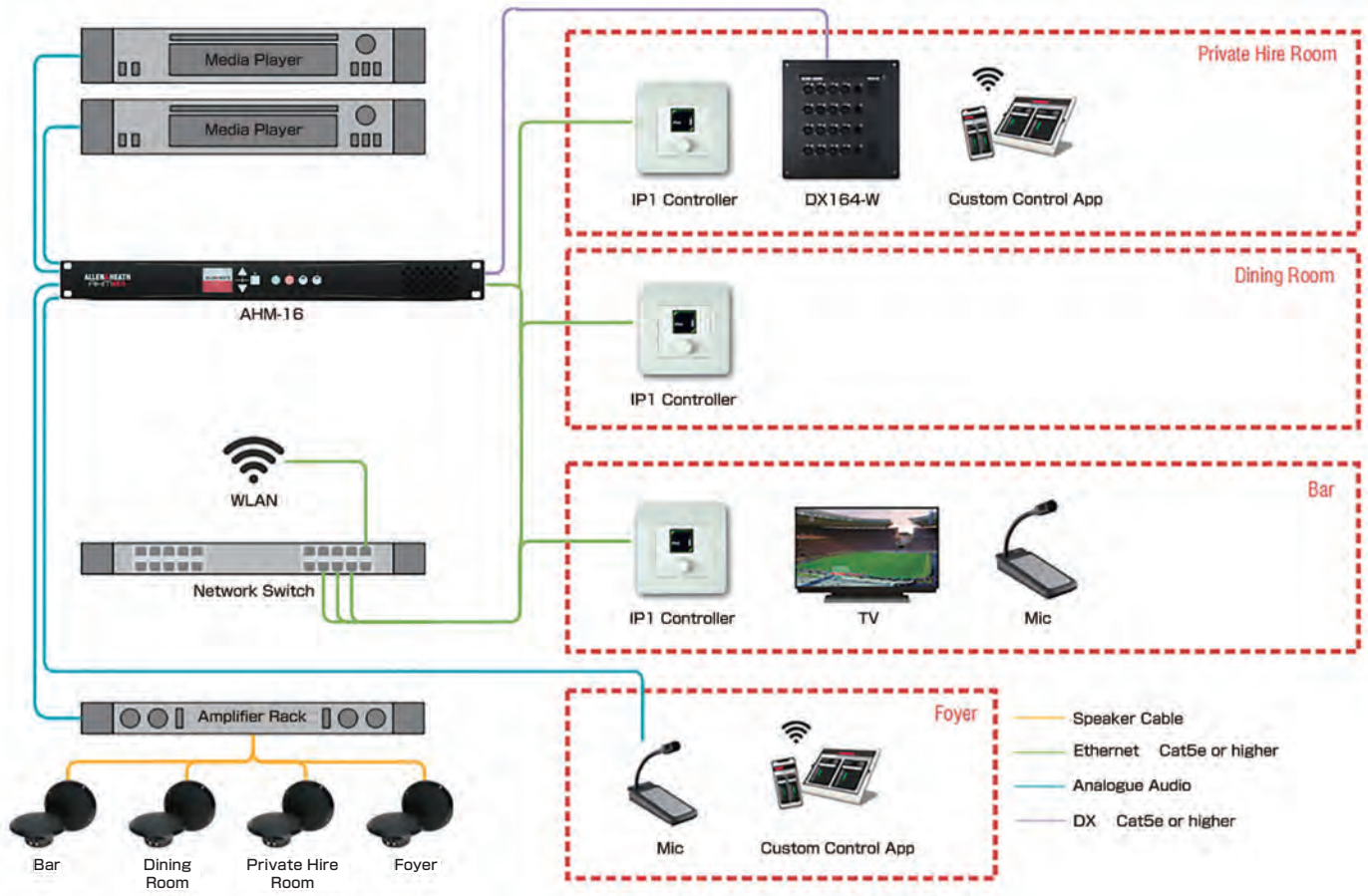
### ●的確なサウンドマネジメント

日々の業務に適した多くの機能を搭載し、的確なサウンドマネジメントを提供します。

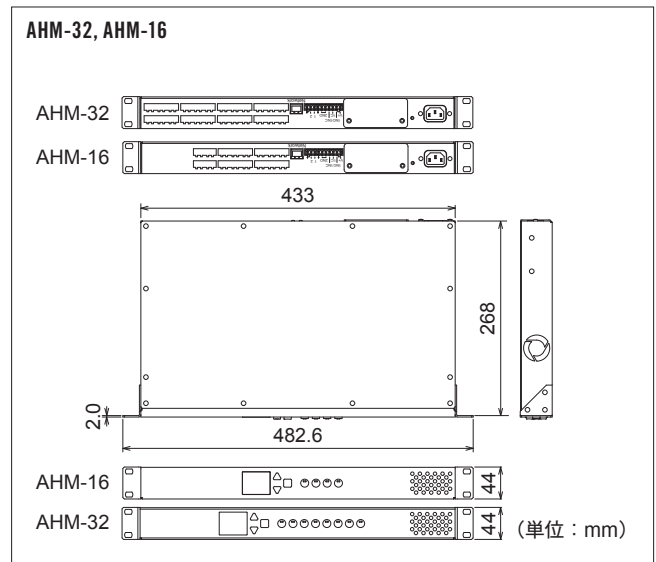
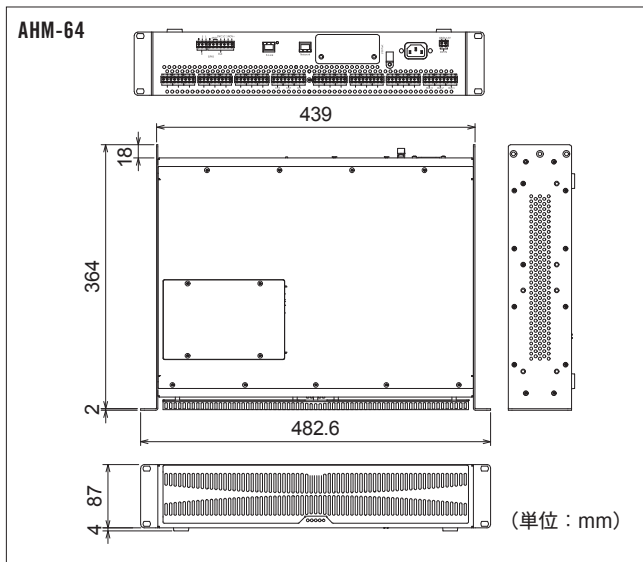
- AMM (オートマチック・マイクミキサー)
- ANC (アンビエントノイズ補正) 機能
- ダッキング機能
- イベントスケジュール管理
- 入出力に8バンドPEQ、ダイナミクス、ディレイ等、必要なエフェクターを装備。
- Dante に対応可能なネットワーク・カードを用意。
- ユーザープロファイル機能
- 管理者を含む操作者のアクセスを制限したり、選択した機能を保護。
- 2×2のGPIOを標準装備
- System Managerソフトウェアは、Mac/Winに対応。
- Custom Controlアプリは、各デバイスに対応可能。
- ステレオ再生機能を内蔵。
- Crestron、AMX、Extronなどサードパーティ製の機器からもコントロール可能。

	AHM-16	AHM-32	AHM-64
入出力チャンネル数	8×8	12×12	12×12
マトリクス	16×16	32×32	64×64
SLink	オプション (SLinkカードをI/Oポートに挿入)		内蔵
I/Oポート	○		
フロントパネル画面	○		—
ソフトキー	4	8	—
GPIO	2×2		
DC電源	—	—	12V
AMM	1	4	8
接続可能なリモコンの数(IP1、IP6、IP8)	8、2、2	32、8、8	64、16、16
ユーザープロファイル	4	16	32
AEC	—	オプション (M-AHM-32)	オプション (M-AHM-64)
リア用ラックマウントキット	—	—	オプション (AHM-64-RK)

## ▼レストラン/バーでの使用例



### ●寸法図



### Option

#### ▶AEC (Acoustic Echo Cancelling) モジュール



**M-AHM-64** オープンブライス

AHM-64用AECモジュール

**M-AHM-32** オープンブライス

AHM-32用AECモジュール

遠隔地からの会議やミーティングへの参加がますます一般的になる中、すべての参加者が明瞭に理解できるような高品質のオーディオは非常に重要です。遠隔地の参加者は、自分の声が会議室のスピーカーで再生され、複数のマイクで拾われて発信者に返されることによって、気が散るようなエコーを経験することが多く、会議の流れに深刻な支障をきたすことがあります。

ALLEN & HEATHのAEC(エコーキャンセラー)は、遠隔地の参加者の音声に含まれる「エコー」と、室内音響に起因する残留ノイズを効果的に検出し、専用のハードウェア処理によって不要な音声を最小化。その結果、会議の参加者全員にとって、よりクリアで快適なリスニング環境を提供します。

#### 仕様

- 12チャンネルAEC
- 150ms FIRフィルター
- 残留エコーNLP(ノンリニア処理)
- 入力チャンネルにインサート  
ファーエンド:AGC(自動ゲイン制御)  
ニアエンド:ゲート
- バックグラウンドノイズ低減
- スピーチ型コンフォートノイズ

# Connecting to AHM Series



AHM-64



AHM-32



AHM-16

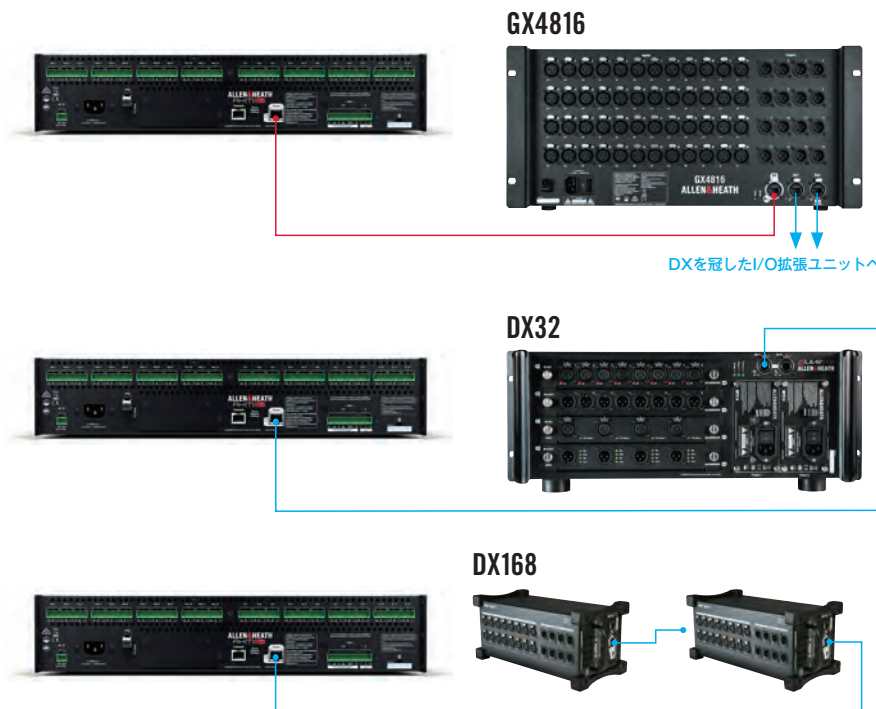


最大128×128ch:DX/GX接続

SLink	DX32または最大2台のDX168/DX164-W/DX012	(32×32)
	DX Hub	(128×128)
	GX4816	(128×128)
I/O Port	SLink カード→DX32	(32×32)
	SLink カード→2台までのDX168 / DX164-W / DX012	(32×32)
	SLink カード→DX Hub	(128×128)
	SLink カード→GX4816	(128×128)

※AHMは、DXリダナントには対応していません。

例) AHM-64のSLinkポートを使用した接続



## Networking Card



M-SQ-DANTE64 (Dante64×64カード)

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ SeriesのファームウェアVer1.5以上で使用可。



M-SQ-SLINK (SLinkカード)

オープンプライス

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。



M-SQ-WAVES3 (WAVESカード)

オープンプライス

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。



M-SQ-MADI (MADIカード)

オープンプライス

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダナントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

# Software AHM

## System Manager

システム構築ソフトウェア

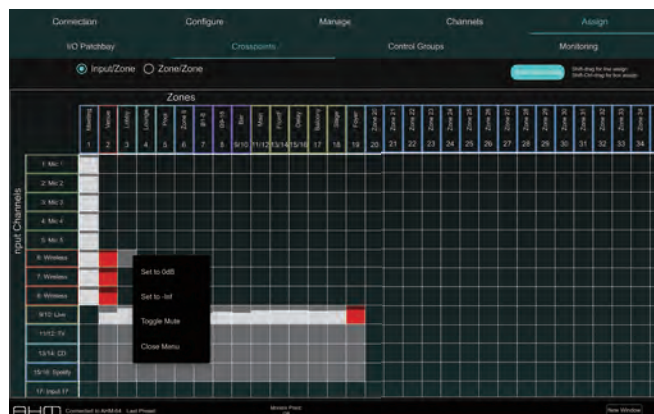
直感的な操作で、迅速なシステム構成が可能。

I/Oルーティングや各エリアのページング、音声配信、スピーカープロセッシングの設定や調整を行います。

※Mac/Windows OS に対応。



▲ Channels view



▲ Assign view

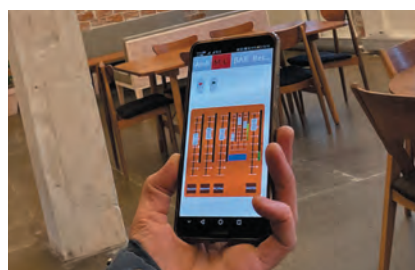
## Custom Control

AHM、dLive、Avantis対応 音響システムコントロールアプリ

教育施設、多目的ホール、商業施設など、設備会場の複雑なオーディオを管理・コントロール。

会場を使用するユーザーのレベルやデバイスに合わせてアプリを設計し、複数のインターフェースを提供できます。

※iOS / Android / Windows / Macに対応。



### マルチユーザーインターフェース

例えば、バーテンダーにはシンプルな携帯電話のインターフェースを提供し、AVオペレーターはタブレットでレベルとルーティングにアクセスし、ラップトップではより包括的なコントロールを行うことができます。Custom Controlアプリを実行しているデバイスは、指定されたユーザー・プロファイルでシステムにログインすることができ、ユーザーをパスワードで保護して、セキュリティを強化することもできます。



### フルカスタマイズ

すべてのレベル、ミュート、センドへのアクセスに加え、プリセットの呼び出し、ソースの選択、メーターの表示が可能です。タブを設定することで、複数のコントロールページやゾーンに簡単にアクセスできます。コントロールデザインのライブラリが用意されており、会場に合わせてカスタムグラフィックを追加することも可能です。



### CC-7 & CC-10 Custom Control用タッチパネル

オープンブライズ

CC-7とCC-10は、デスクトップまたはウォールマウント用のコントロール・タッチパネルです。Custom Controlアプリが搭載されており、シンプルな音楽ソースの選択から、レベルコントロール、プリセットの呼び出し、ページングまで、タッチスクリーンで操作できます。IPリモート・コントローラー(→p.38)の代わりとなる製品です。

Option CC-STN: デスクスタンド  
CC-BRK: ウォールマウントブラケット

以下のウェブサイトから無料でダウンロードできます。

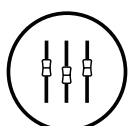
Custom Control Editor



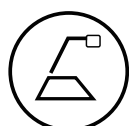
Custom Control App



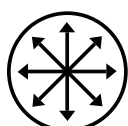
CC-7&CC-10 App for Android



SOUND MANAGEMENT



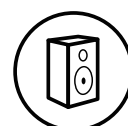
PAGING



AUDIO DISTRIBUTION



CONFERENCING



SPEAKER PROCESSING

# Remote Control

IP Seriesのリモートコントローラーは、標準的なTCP/IPネットワークを介してdLive/Avantisミキシングシステムと接続。他のコントローラーやコンピューター、サードパーティのデバイスにもイーサネットを使用してネットワークを簡単に構築できます。コントロールと機能は、サーフェスまたはPC/Mac用のDirectorソフトウェアを使ってプログラムします。



IP1-WH-EU  
IP1-BK-EU

IP1-WH-US  
IP1-BK-US

## IP1

オープンプライス

小型かつシンプルなウォールプレート。  
技術者でないユーザーにも便利で  
簡単なコントロールを提供します。

- 音楽ソースの選択、レベルコントロール、またはプリセットの呼び出し
  - プッシュ&ターン式ロータリーとLCDディスプレイを搭載
  - TCP/IP、PoE対応
  - US (Decora) とEUの2つのバリエーション、ブラックとホワイト
- ※フェイスプレートは付属しません

### 仕様

- ネットワーク: Fast Ethernet 100Mbps
- PoE (802.3af: 15.4W) またはPoE+ (802.3at: 30.0W)
- 消費電力: 2.5W
- 寸法 (W×H×D)・質量:
  - IP1-EU 50×50×32mm、70g
  - IP1-US 45×106×25mm、100g

## IP6

オープンプライス

6個のプッシュ・アンド・ターン式  
ロータリーエンコーダ

- ワイヤレスのIEMやパーソナル・モニタリングシステムとしても使用可能
- 6レイヤー
- PoEまたは外部12V電源

Option AB8999: マイクスタンド取付ブラケット  
AA8705: ヘッドホンハンガー  
IP6-ME-MOUNT: ウォールマウントブラケット

### 仕様

- ネットワーク: Fast Ethernet 100Mbps
- PoE (802.3af: 15.4W) またはPoE+ (802.3at: 30.0W)  
接続したIP6 1ユニットにつき10Wを供給
- 外部DC電源: +12V、360mA
- 消費電力: 5W
- 寸法 (W×H×D)・質量: 227×55×150mm、1.5kg

## IP8

オープンプライス

8本のモーターライズドフェーダーを搭載。  
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの  
ミキシングシステムとして、ハンズオンコントロールを可能にします。

- 8モーターライズドフェーダー
- 6レイヤー
- PoE+または外部12V PSU
- 台座や家具に取り付けて使用することもできます。

Option IP8-MOUNT: マウントキット

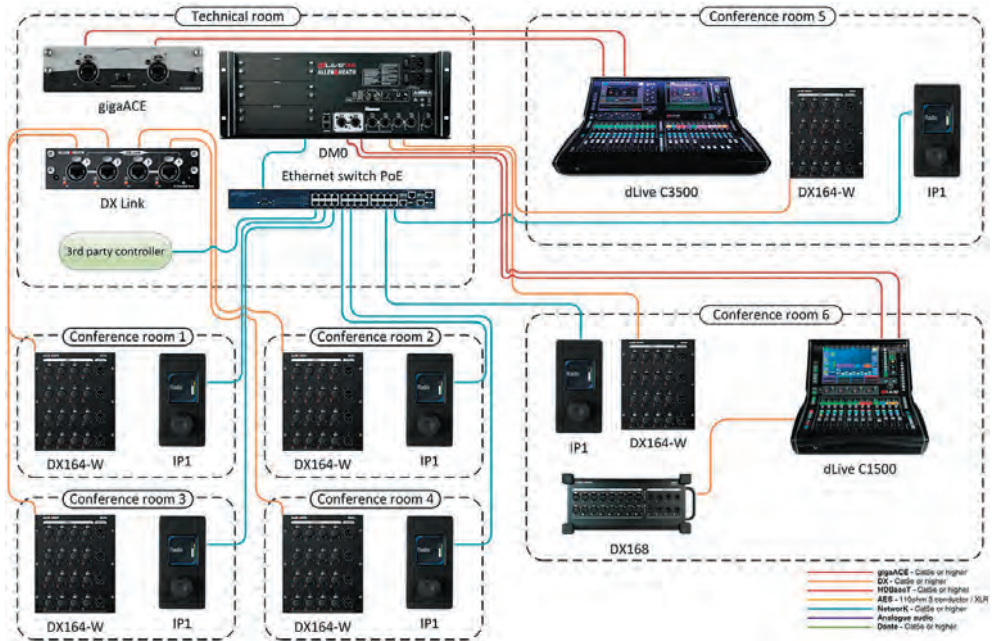
### 仕様

- ネットワーク: Fast Ethernet 100Mbps
- PoE+給電: 30.0W (802.3at) ※PoE+給電のみに対応  
接続したIP8 1ユニットにつき25Wを供給
- 外部DC電源: +12V、2.1A
- 消費電力: 25W
- 寸法 (W×H×D)・質量: 291×61×205mm、2.5kg

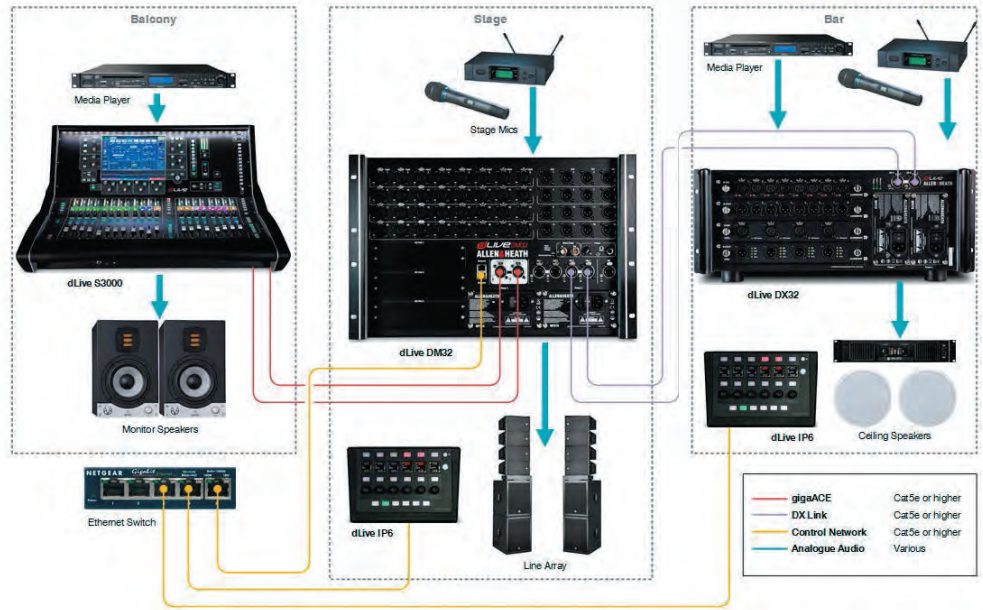


# IP Series使用例

## IP1 設置例



## IP6 設置例



サーフェスレス・ミキシング  
IP8, dLive DirectorとMixRack



Avantisの追加フェーダーとしてIP8を使用



コンパクトな1Uサイズに豊富な入出力と多彩な機能を凝縮  
店舗や施設のBGM、ページングシステムに適したアナログ・ゾーンミキサー



**GR4 1U** オープンブライズ  
アナログ・ゾーンミキサー

- バー、レストラン、店舗、レジャー施設など小規模商業施設のBGMやページングをシンプルにコントロール。
- 4つのゾーンへの出力が可能。
- ページング機能や録音されたアナウンスを優先的に入力するモードなど通常業務に便利な機能を搭載。
- オプションでウォールプレートやリモコンを用意。
- 付属の金具でラックマウント可能。

**最大4つのゾーンのミキシング**

Z1とZ2への入力を個別にミックスし、選択してコントロール可能。Z3とZ4へのミックス出力は、内部ジャンパーにより複数のオプションを設定可能。

**ダイナミクス**

すべてのマイク入力にゲインと2バンドEQを、さらにZ1とZ2出力にも2バンドEQを搭載。

**プライマリーマイクモード**

MIC1の入力やページングを感知すると、音楽はあらかじめ設定されたレベルまでフェードされ、アナウンスの間はMIC2-4がミュートされる機能。  
※ゲイン/ボリュームの設定が簡単に変更できないように、ロータリーコントロールを取り外して付属のキャップを取り付けられます。

**選択可能なモード**

**プライマリ/セカンダリマイクモード**

単純なページングアナウンスなど、階層化されたマイクフィードの制御に最適。

**エマージェンシーマイクモード**

緊急時にサードパーティのシステムと併用するためのモード。アラーム接点が閉じると、MIC1以外のすべての入力をミュートします。

**ジュークボックスモード**

録音されたアナウンスやスポーツチャンネルなどの番組素材をシステムに優先的に入力。

**高度な機能**

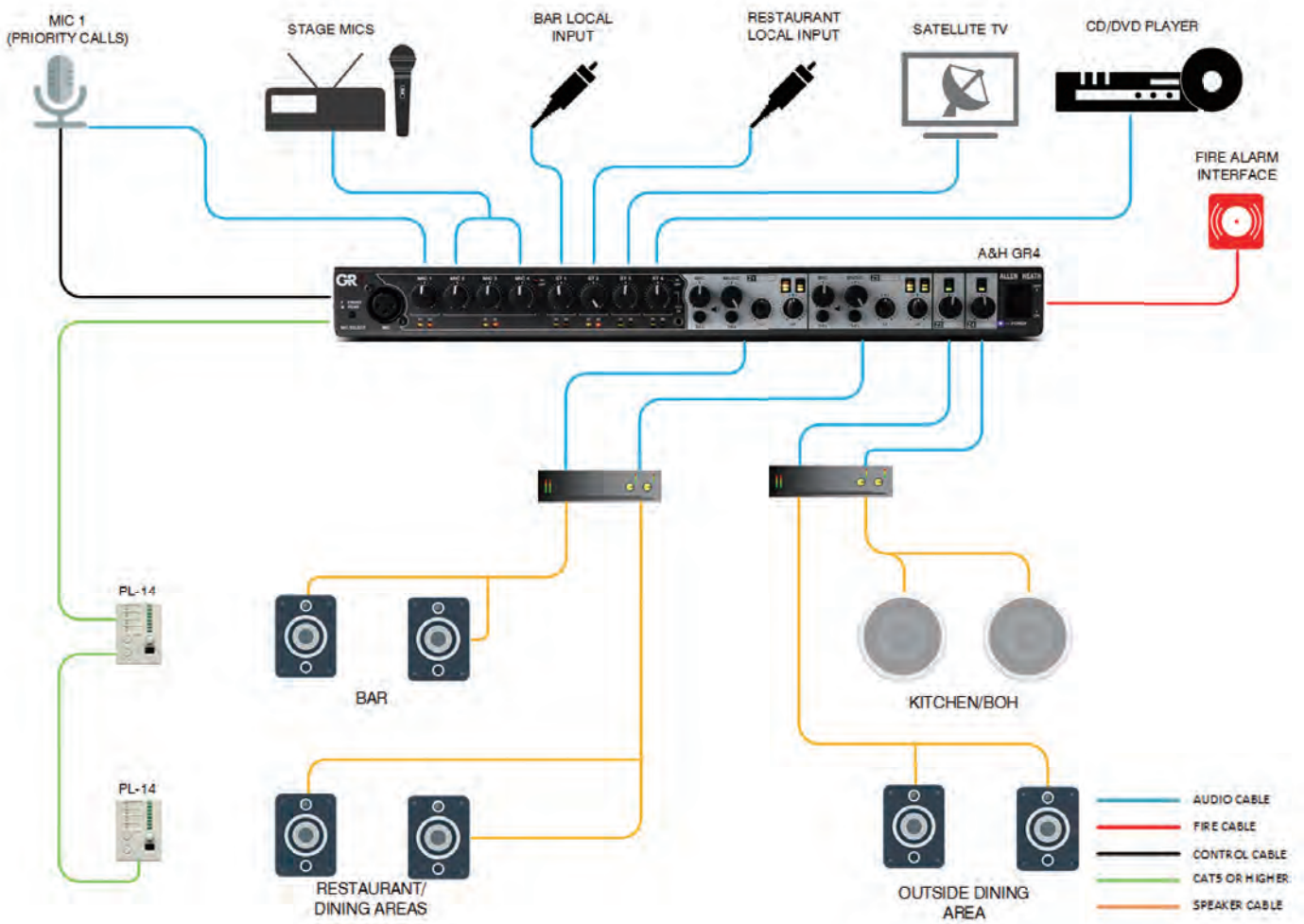
プログラミングモードに入ると、以下のパラメーターを調整することが可能。

- ダツカーの減衰量
- ダツカーのホールドタイム
- ダツカーのリリースタイム
- ミュージック・クロスフェード・タイム
- ジュークボックスのホールドタイム
- ジュークボックスのリリースタイム

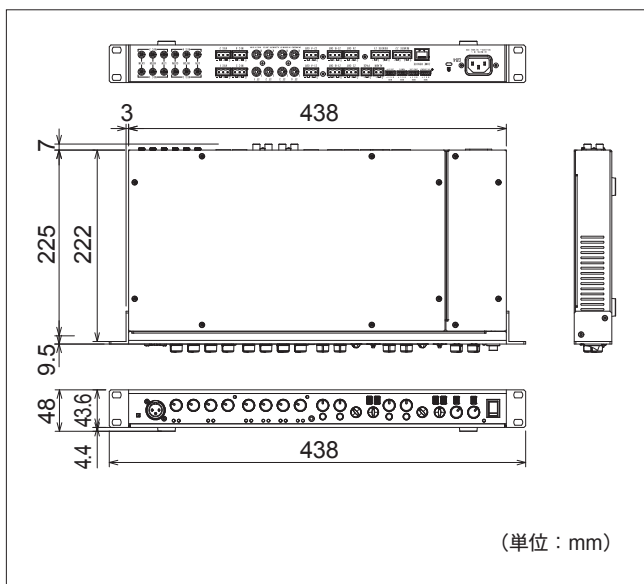
形式	固定設備用 ラックマウント対応 ゾーンミキサー	
ゾーニング	最大4ゾーン ※全機能は2ゾーン (Z1、Z2) 対応。	
マイク入力	チャンネル数	4バランス入力 (背面: PHOENIX CONTACT 5.08相当、Mic1は前面: XLR端子と切替互換) +48Vファンタム電源 (MIC1とMIC2~4の背面DIPスイッチによるOn/OFF)
	周波数特性	20~20kHz (±1dBu)
	入力感度	0dBu ~ -50dBu
	ゲイン	OFF (-80dB) ~ +6dB
	クリップレベル	+21dBu ※警告LED表示は+18dBuで点灯
	THD+N	0.004% 22~22kHz (0dBu 1kHz)、0.005% 22~22kHz (-30dBu、+30dBuゲイン 1kHz)
	マイク等価入力ノイズ	-127dBu (50dBゲイン)
ライン入力	チャンネル数	4ST アンバランス入力 (背面: RCA端子、ST1~4の各LR)
	周波数特性	20~20kHz (±0.5dBu)
	入力感度	0dBu (ゲインリンクOFF)、-10dBu (ゲインリンクON)
	ゲイン	OFF (-80dB) ~ +6dB
	最大入力	+18dBu
	THD+N	0.015% 22~22kHz (-10dBu 1kHz)、0.035% 22~22kHz (0dBu 1kHz)
出力	クロストーク	-75dBu (1kHz、入力は未選択)
	ノミナルレベル	0dBu (内部ジャンパー設定で-10dBuに変更可能)
	レベルコントロール	最大: +4dBu 最小: OFF (-74dBu)
アラーム /ページ入力	クリップレベル	+21dBu
	電圧 (最大/最小)	+15V/-15V
	入力ソース/シンク	最大5mA
電源	AC100V 50/60Hz 15W (最大負荷時20W)	
寸法 (W×H×D)	483×43.6×222mm (除突起部、D: ラックマウント面より)	
質量	約3.4kg (ラックマウントキット含む場合、約3.7kg)	
付属品	ACケーブル、ラックマウントキット、M3皿ねじ×4本、各種ユーロブロック、ブランクキャップ	



# GR4使用例



●寸法図



## Option

### PL-14

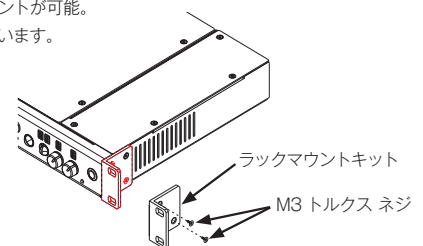
オープンブライス



#### リモートコントロール用ウォールプレート

- ロータリー式ボリュームコントロール、4つのソースセレクトスイッチ
- CAT5eまたはそれ以上のケーブルで接続
- RJ45リンクスルーコネクタによってコントローラーの追加が可能 (最大2台まで)

付属の金具でラックマウントが可能。  
トルクスネジも付属しています。





## dLive S Class

		dLive S7000	dLive S5000	dLive S3000	dLive DM64	dLive DM48	dLive DM32	dLive DM0
入出力性能	フェーダー数	36	28	20	-			
	ディスプレイ数	2	2	1	-			
	入力チャンネル	-	-	-	128			
	バス	-	-	-	64 (グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)			
	内蔵エフェクター	-	-	-	16			
ローカル/I/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	8 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)		64	48	32	-
		入力感度	-60 ~ +15dBu		-60 ~ +15dBu			-
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、1dBステップ		+5 ~ +60dB、1dBステップ			-
		パッド	-20dB アクティブパッド		-20dB アクティブパッド			-
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)		+30dBu (PAD in)			-
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)		>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)			-
		マイク等価入力ノイズ	-127dB (150Ω ソース)		-127dB (150Ω ソース)			-
	デジタル入力	AES3	2 (バランスXLR、110Ω)		-			-
		サンプリングレート	32k~192kHz (バイパスオプション付き)		-			-
	アナログ出力	ライン出力	8 (バランスXLR)		32 (バランスXLR)	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)	-
		出力インピーダンス	<75Ω		<75Ω			-
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値			-
		最大出力レベル	+22dBu		+22dBu			-
		残留出力ノイズ	-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)		-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)			-
	デジタル出力	AES3	3 (バランスXLR、110Ω)		-			-
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能		-			-
接続端子	gigaACE	2		2			-	
	DX Link	2		4			-	
	オプションカードスロット	2		3			-	
	ME接続専用 48kHzポート	-		1			-	
	ネットワークポート	2×RJ45		2×RJ45			-	
	ワードクロックI/O	2×BNC		2×BNC			-	
	USB-A	3		-			-	
	外部ディスプレイ	1×VGA		-			-	
	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×2	1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×1	1			-	
システム XLR入力~ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ	110dB		110dB			-	
	S/N	-92dB		-92dB			-	
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB		20Hz~30kHz +0/-0.8dB			-	
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @ +16dBu出力、1kHz 0dBゲイン		0.0015% @ +16dBu出力、1kHz 0dBゲイン			-	
	ヘッドルーム	+18dB		+18dB			-	
	内部動作レベル	0dBu		0dBu			-	
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)			+18dBu= 0dBFS	
	メーターキャリブレーション	0dB メーター=-18dBFS (+4dBu@XLR出力)		0dB メーター=-18dBFS (+4dBu @XLR出力)			0dB meter= -18dBFS	
	メーターピークインジケーション	-3dBFS (+19dBu @XL出力)		-3dBFS (+19dBu @XL出力)			-3dBFS	
	サンプリングレート	96kHz +/- 20PPM		96kHz +/- 20PPM			-	
	AD/DA コンバーター	24bit		24bit			-	
レイテンシー	0.7 ms (MixRack XLR入力~ XLR出力、入力~ミックス)		0.7 ms (MixRack XLR入力~ XLR出力、入力~ミックス)			-		
	+5サンプル、サーフェス~MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32~MixRack (DX Link)		+5サンプル、サーフェス~MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32~MixRack (DX Link)			-		
電源	100V AC、50/60Hz PSUスロット×2 (リダンダント電源対応) ※出荷時は1台のみ		100V AC、50/60Hz PSUスロット×2 (リダンダント電源対応) ※出荷時は1台のみ			100V AC、 50/60Hz リダンダント電源 内蔵		
消費電力	最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※電源ユニットに消費電力を記載		最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※電源ユニットに消費電力を記載			最大90W (各電源)		
寸法 (W×H×D)	1325×413× 728mm	1115×413× 728mm	870×413× 728mm	482.6×458× 313mm、10U	482.6×369× 313mm、8U	482.6×325× 313mm、7U	482.6×176× 355mm、4U	
質量	約41kg	約35kg	約28kg	約21kg	約17.5kg	約15kg	約12kg	

# dLive C Class

		dLive C3500	dLive C2500	dLive C1500	dLive CTi1500	dLive CDM64	dLive CDM48	dLive CDM32	
入出力性能	フェーダー数	24	20	12	12	-			
	ディスプレイ数	2	1	1	1	-			
	入力チャンネル	-					128		
	バス	-					64 (グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数)		
	内蔵エフェクター	-					16		
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	6 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)			64 (バランスXLR、+48Vファンタム電源)			
		入力感度	-60 ~ +15dBu			-60 ~ +15dBu			
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、1dBステップ			+5 ~ +60dB、1dBステップ			
		パッド	-20dB アクティブパッド			-20dB アクティブパッド			
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)			+30dBu (PAD in)			
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)			>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)			
		マイク等価入力ノイズ	-127dB (150Ω ソース)			-127dB (150Ω ソース)			
	デジタル入力	AES3	1 (バランスXLR、110Ω)			-			
		サンプリングレート	32k~192kHz (バイパスオプション付き)			-			
	アナログ出力	ライン出力	6 (バランスXLR)			32 (バランスXLR)	24 (バランスXLR)	16 (バランスXLR)	
		出力インピーダンス	<75Ω						
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値						
		最大出力レベル	+22dBu						
		残留出力ノイズ	-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)			-92dBu (ミュート20~20kHz) -90dBu (ミュート20~40kHz)			
	デジタル出力	AES3	1 (バランスXLR、110Ω)			-			
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能			-			
接続端子	gigaACE	1			1				
	DX Link	1			2				
	オプションカードスロット	1			1				
	ME接続専用 48kHzポート	-			1				
	ネットワークポート	2×RJ45			2×RJ45				
	ワードクロックI/O	1×BNC			1×BNC				
	USB-A	2×USB-A			-				
	外部ディスプレイ	1×VGA			-				
	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1、1/8"フォーン×1			1				
	ダイナミックレンジ	110dB			110dB				
システム XLR入力~ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	S/N	-92dB			-92dB				
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB			20Hz~30kHz +0/-0.8dB				
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン			0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン				
	ヘッドルーム	+18dB			+18dB				
	内部動作レベル	0dBu			0dBu				
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)			+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)				
	メーターキャリブレーション	0dB メーター=-18dBFS (+4dBu@XLR出力)			0dB メーター=-18dBFS (+4dBu@XLR出力)				
	メーターピークインジケーション	-3dBFS (+19dBu @XL出力)			-3dBFS (+19dBu @XL出力)				
	サンプリングレート	96kHz +/- 20 PPM			96kHz +/- 20 PPM				
	AD/DA コンバーター	24bit			24bit				
	レイテンシー	0.7 ms (MixRack XLR入力~ XLR出力、入力~ミックス) +5サンプル、サーフェス~MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32~MixRack (DX Link)			0.7 ms (MixRack XLR入力~ XLR出力、入力~ミックス) +5サンプル、サーフェス~MixRack (gigaACE) +8サンプル、DX32~MixRack (DX Link)				
	電源	100V AC、50/60Hz シングル電源			100V AC、50/60Hz シングル電源				
消費電力	最大110W						最大175W		
寸法 (W×H×D)	885×325× 665mm	775×325× 665mm	485×325× 665mm	440×337× 644mm	481.6×354.5× 309mm、8U	481.6×310× 309mm、7U、	481.6×221× 309mm、5U		
質量	約28kg	約24.5kg	約18kg	約11.5kg	約13.5kg	約12kg	約10kg		

avantis

SQ

## Avantis

		Avantis	
入出力性能	フェーダー数	24	
	ディスプレイ数	2	
	入力チャンネル	64	
	バス	42	
	内蔵エフェクター	12	
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	12 (バランスXLR、+48V ファンタム電源)
		入力感度	-60 ~ +15dBu
		アナログゲイン	+5 ~ +60dB、 1dBステップ
		パッド	-20dB アクティブパッド
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)
		マイク 等価入力ノイズ	-127dB (150Ω ソース)
		デジタル入力	AES3
	サンプリング レート		32k~192kHz (バイパスオプション付き)
	アナログ出力	ライン出力	12 (バランスXLR)
		出力インピーダンス	<75Ω
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値
		最大出力レベル	+22dBu
		残留出力ノイズ	-95dBu (ミュート20~22kHz) -90dBu (ミュート0~80kHz)
	デジタル出力	AES3	2 (バランスXLR、110Ω)
		サンプリング レート	96kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能
	接続端子	SLink	1
		オプションカードスロット	2
		ネットワークポート	2×RJ45
ワードクロックI/O		1×BNC	
USB		USB2.0×1(背面:Type-A)、 USB3.0×1(前面:Type-A)	
システム XLR入力~ XLR出力 20-40kHz ミニマム ゲイン パッドなし	ダイナミックレンジ	109dB	
	S/N	-92dB	
	周波数レスポンス	20Hz~30kHz +0/-0.8dB	
	THD+N (アナログ入力から出力)	0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dB ゲイン	
	ヘッドルーム	+18dB	
	内部動作レベル	0dBu	
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)	
	メーター キャリブレーション	0dBメーター=-18dBFS (+4dBu@XLR出力)	
	メーターピーク インジケーション	-3dBFS (+19dBu @XLR出力)	
	サンプリングレート	96kHz	
	電源	100V AC、50/60Hz	
消費電力	最大150W		
寸法(W×H×D)	917×269×627mm		
質量	約26kg		

## SQ

		SQ-7	SQ-6	SQ-5		
入出力性能	フェーダー数	32+1	24+1	16+1		
	ディスプレイ数	1				
	入力チャンネル	48 (HPF、PEQ、Gate、Comp、Delayを有するプロセッシング)				
	バス(処理能力)	32 (12stereo/mono ミックス・バス、3stereoマトリクス、LR出力の合計)				
	内蔵エフェクター	8 専用ステレオリターン装備 (Deepプラグイン・ソフト/オプションに対応)				
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン 入力	32	24	16	
		入力感度	-60 ~ +0dBu			
		アナログゲイン	0dB ~ +60dB、1dBステップ			
		パッド	-20dB 切替パッド			
		最大入力レベル	+30dBu			
		入力 インピーダンス	>5kΩ			
		THD+N (ユニティゲイン 0dB)	0.002% -92dBu (20Hz~20kHz、AES ダイレクトアウト、 @0dBu 1kHz)			
		THD+N (Midゲイン +30dB)	0.003% -91dBu (20Hz~20kHz、AES ダイレクトアウト、 @-30dBu 入力 1kHz)			
	アナログ出力	ライン入力	3			
		ST1、ST2	バランス1/4" TRS			
		ST3	アンバランス3.5mmミニSTフォーンジャック			
		入力感度	ST1、ST2 :+4dBu、ST3:0dBu			
		トリム	+/-24dB			
		最大入力レベル	ST1、ST2 :+22dBu、ST3:+18dBu			
		入力 インピーダンス	>7kΩ			
		アナログ出力	ライン出力	16+2 (XLR×16、 バランスTRS×2)	14+2 (XLR×14、 バランスTRS×2)	12+2 (XLR×12、 バランスTRS×2)
			出力 インピーダンス	<75Ω		
			定格出力	+4dBu=0dB の測定値		
			最大出力レベル	+22dBu		
デジタル出力	残留出力ノイズ	-90dBu (ミュート20Hz~20kHz)				
	AES3	1 (バランスXLR、110Ω)				
接続端子	サンプリング レート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能				
	SLink	1×RJ45				
	オプションカードスロット	1				
	ネットワークポート	1×RJ45				
	USB	USB2.0×2(背面:Type-B、前面:Type-A)				
システム XLR入力~ XLR出力 0dBゲイン、 0dBu入力	ヘッドホン出力	1/4"フォーン×1				
	ダイナミックレンジ	112dB				
	周波数レスポンス	+0/-0.5dB 20Hz~20kHz				
	THD+N (Mic/Lineから メインL/R出力)	ユニティゲイン・フェーダー@0dB、0.006%、-84dBu (20~20kHz)				
	ヘッドルーム	+18dB				
	内部動作レベル	0dBu				
	dBFS アライメント	+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)				
	メーター キャリブレーション	0dB meter=-18dBFS (+4dBu @XLR出力)				
	ピークインジケーション	-3dBFS (+19dBu @XLR out)、マルチポイントセンシング				
	サンプリングレート	96kHz				
	レイテンシー	<0.7ms、ローカルマイク入力~メインL/R				
電源	100V AC、50/60Hz					
消費電力	110W	90W	75W			
寸法(W×H×D)	804×198× 514.9mm	638×198× 514.9mm	440×198× 514.9mm			
質量	約17.8kg	約14.5kg	約10.5kg			



# I/O Expander

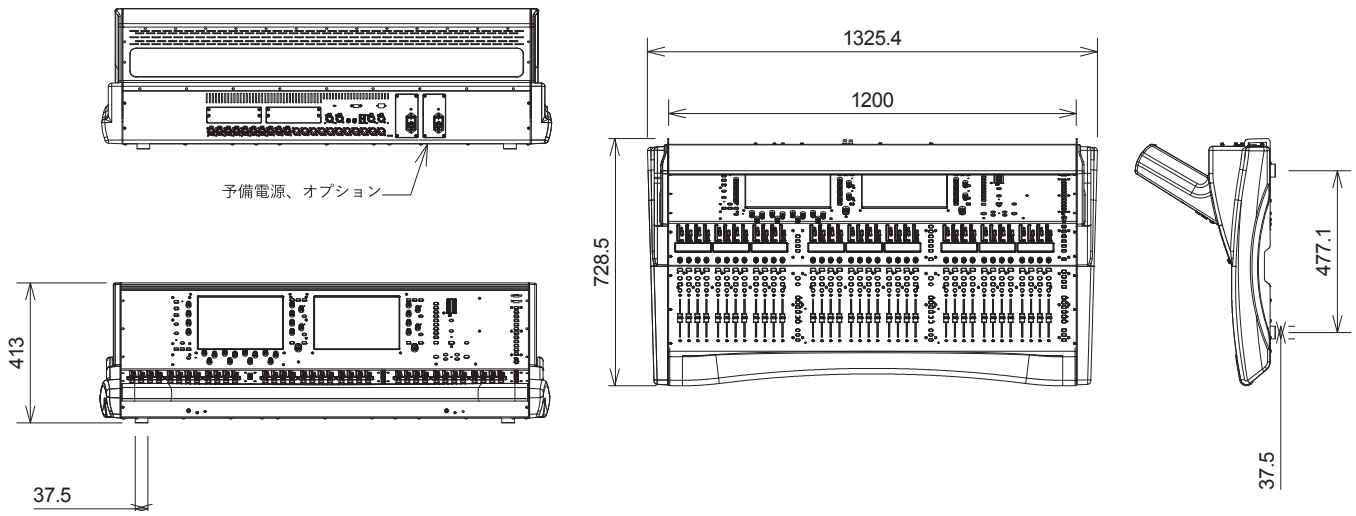
		GX4816	DX32	DX012	DX168	DX164-W	DX88-P	AR2412	AB168	AR84	DT168	DT164-W		
入力	アナログ 入力	マイク/ライン 入力	48 (バランス XLR、 +48Vファン タム電源)	★最大32 (バランス XLR、 +48Vファン タム電源)	—	16 (バランスXLR、 +48Vファンタム電源)	8 (バランス ユーロブロック、 +48Vファンタム電源)	24 (バランス XLR)	16 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	16 (バランスXLR、 +48Vファンタム電源)			
		入力感度	-60~+15dBu		—	-60~+15dBu		-60~+15dBu		-60~+15dBu				
		アナログゲイン	+5~+60dB、1dBステップ		—	+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ		+5~+60dB、1dBステップ		
		パッド	-20dBアクティブパッド		—	-20dBアクティブパッド		-20dB		-20dB		-20dBアクティブパッド		
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)		—	+30dBu (PAD in)		+30dBu		+32dBu		+30dBu (PAD in)		
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		—	>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		>4kΩ (Pad out)、 >10kΩ (Pad in)		
		マイク 等価入力ノイズ	-127dB (150Ω ソース)		—	-127dB (150Ω ソース)		-127dB (150Ω ソース)		-127dB (150Ω ソース)		-127dB (150Ω ソース)		
	デジタル 入力	AES3	—	★最大32 (バランス XLR、110Ω)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		サンプリング レート	—	32k~192kHz (バイパスオプ ション付き)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	出力	アナログ 出力	ライン出力	16 (バランス XLR)	★最大32 (バランス XLR)	最大12 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)	8 (バランス ユーロブロック)	12 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)	8 (バランス XLR)	4 (バランス XLR)
			出力 インピーダンス	<75Ω		<60Ω	<75Ω		<75Ω		<75Ω		<75Ω	
			定格出力	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu= 0dBの測定値	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値	
最大出力レベル			+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	
残留出力ノイズ			-95dBu (ミュート、 20Hz~ 22kHz)	-92dBu (ミュート、 20Hz~ 20kHz)	-95dBu (22Hz~ 22kHz)	-92dBu (ミュート、20Hz~20kHz)		-91dBu (ミュート、 20Hz~ 20kHz)	-91dBu (ミュート、20Hz~20kHz)		-92dBu (ミュート、20Hz~20kHz)		-92dBu (ミュート、20Hz~20kHz)	
デジタル 出力		AES3	—	★最大32 (バランス XLR、110Ω)	最大8 (バランス XLR、110Ω)	—	—	—	—	—	—	—	—	
		サンプリング レート	—	96kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能	96kHz、 88.2kHz、 48kHz、 44.1kHz 切り替え可能	—	—	—	—	—	—	—	—	
接続端子	GX Link	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	DX Link	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—		
	ME/dSNAKE	—	—	—	—	—	—	3	—	2	—	—		
	Dante	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2		
	オプションカード スロット	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
電源	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz PSUスロット ×2(リダンダ ント電源対応) ※出荷時は1台のみ	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	12V DC (外部電源)、 最大3.3A	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz	100V AC、 50/60Hz		
消費電力	最大90W	最大300W (MPS16 V1 300W)* 最大250W (MPS16 V2 250W)* ※AC電源アダ プターに消費 電力を記載	最大35W	最大35W	最大35W	最大39.6W	最大70W	最大40W	最大20W	最大40W	最大35W			
寸法 (W×H×D)	481.6× 221.5× 255mm、5U (脚含むH: 229.5mm)	433×177× 290mm、 4U	482.6× 48.2× 214.7mm、 1U	416.55× 182.1× 189mm	210×210× 87mm	216.5× 42.8× 195.4mm	482.6× 132.5× 219.4mm、 3U (脚含むH: 136.7mm)	416.55× 182.1× 189mm	482.6× 44× 217.8mm、 1U (脚含むH: 48.2mm)	416.55× 182.1× 189mm	210×210× 87mm			
質量	約8kg	約10.5kg	約2.95kg	約4.6kg	約3.2kg	約1.51kg	約5kg	約4.8kg	約3kg	約4.6kg	約3.2kg			

★モジュールの選択により構成が異なります。最大4モジュール(1モジュールあたり8ch)でアナログ入力、アナログ出力、AES3各種入出力の合計が32ch(8ch単位)となります。(→p.26)

# dLive S Class

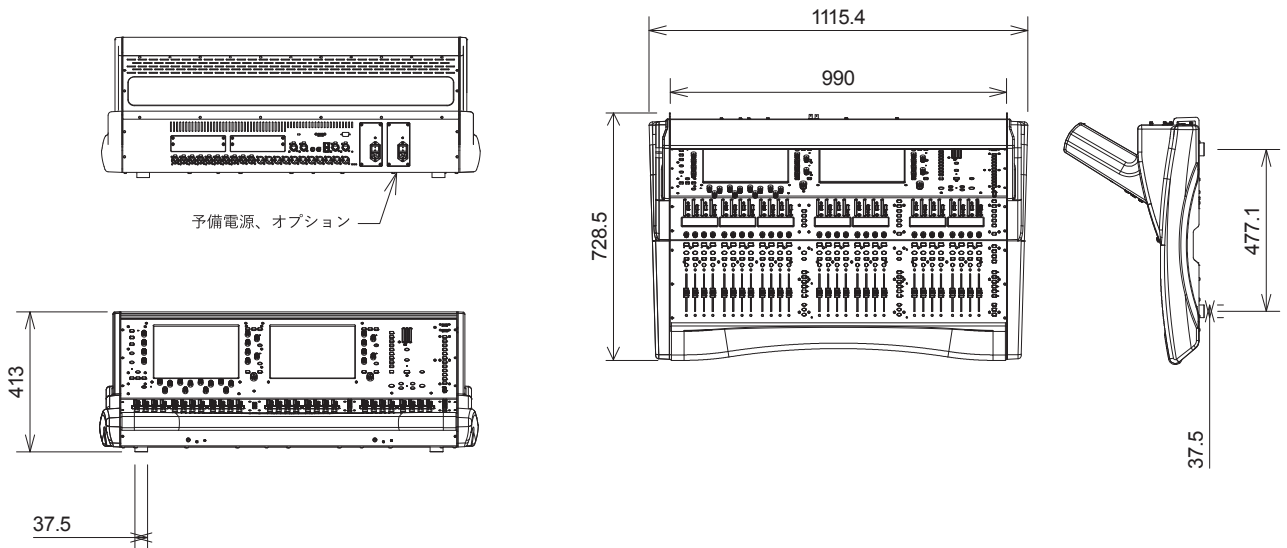
**S7000** W1325.4×H413×D728.5mm、41kg

(単位:mm)



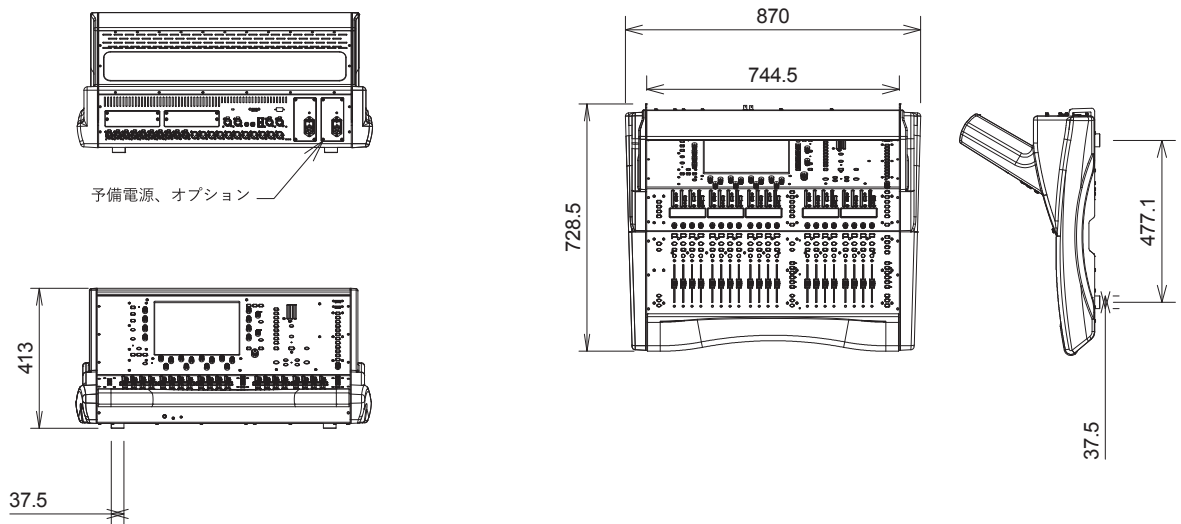
**S5000** W1115.4×H413×D728.5mm、35kg

(単位:mm)



**S3000** W870×H413×D728.5mm、28kg

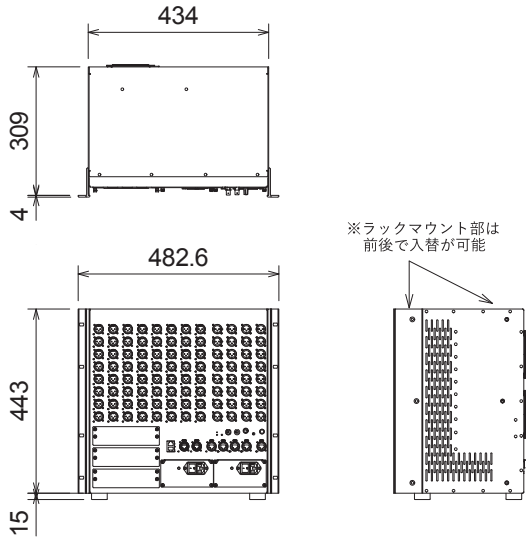
(単位:mm)



**DM64** W482.6×H458×D313mm、21kg

10U

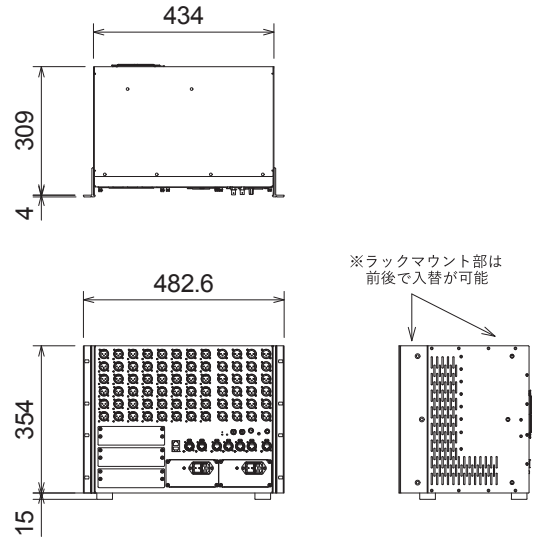
(単位:mm)



**DM48** W482.6×H369×D313mm、17.5kg

8U

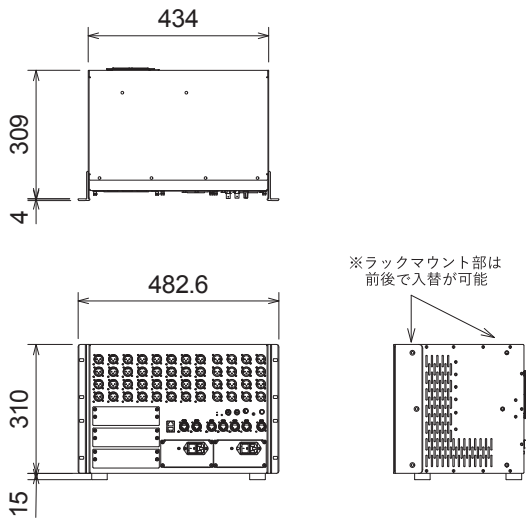
(単位:mm)



**DM32** W482.6×H325×D313mm、15kg

7U

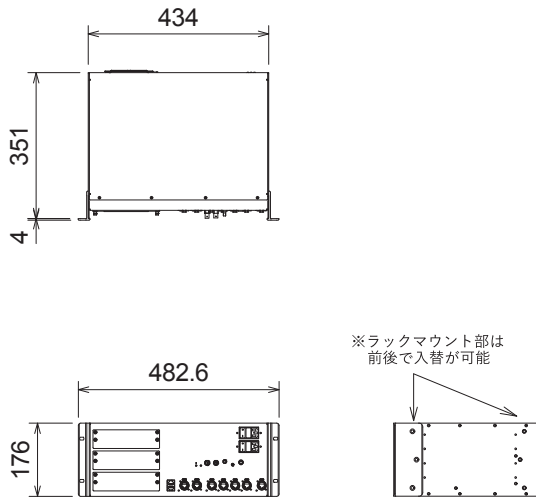
(単位:mm)



**DM0** W482.6×H176×D355mm、12kg

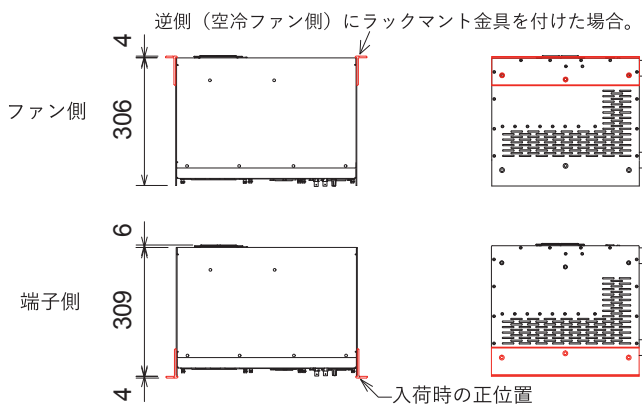
4U

(単位:mm)

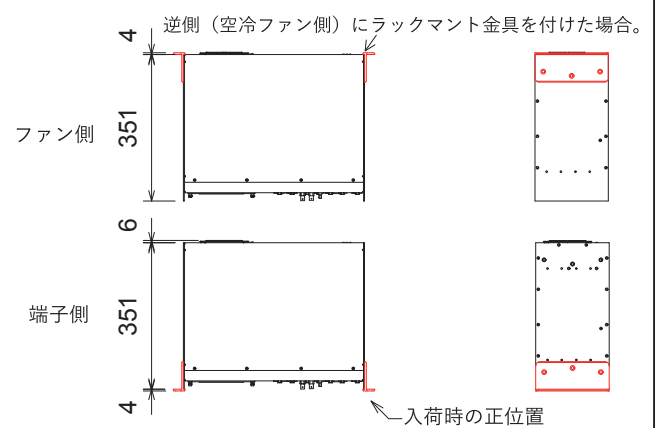


dLive-DM32,48,64の例

(単位:mm)



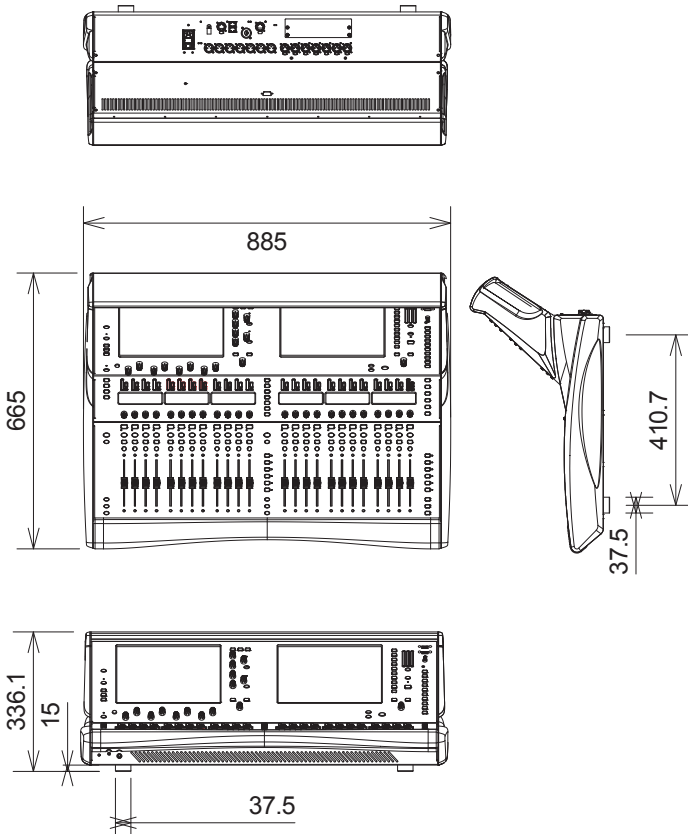
dLive-DM0の例



# dLive C Class

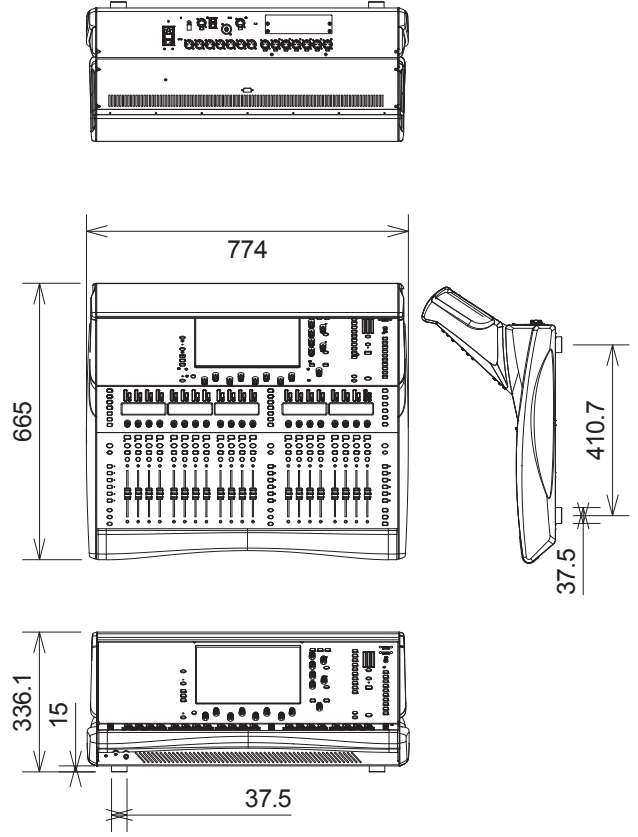
**C3500** W885×H325×D665mm、28kg

(単位:mm)



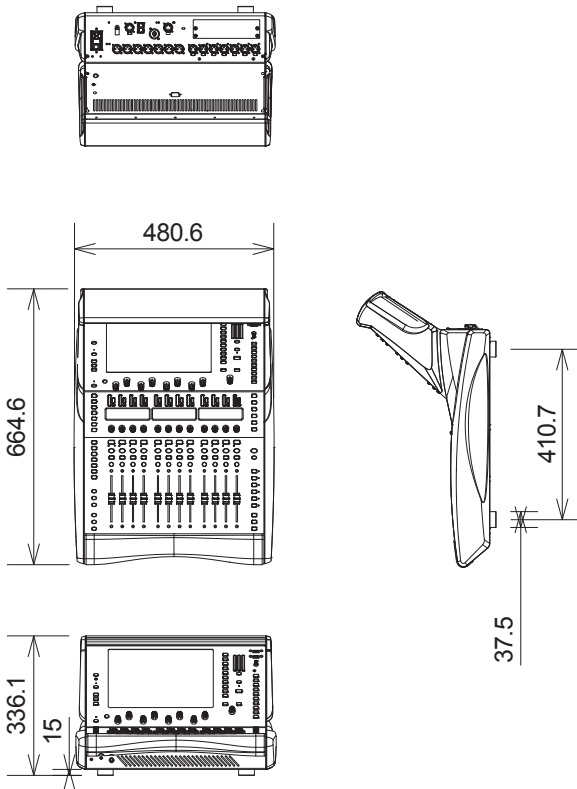
**C2500** W775×H325×D665mm、24.5kg

(単位:mm)



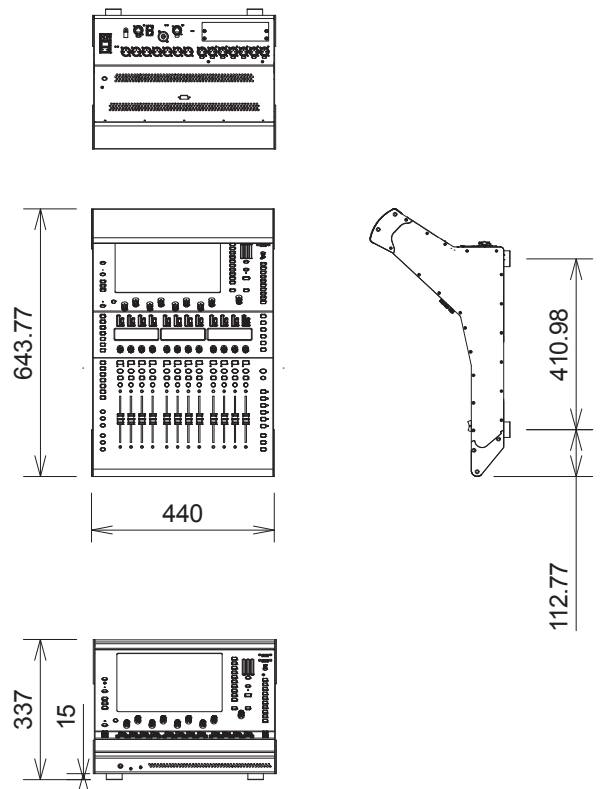
**C1500** W485×H325×D665mm、18kg

(単位:mm)



**CTi1500** W440×H337×D644mm、11.5kg

(単位:mm)

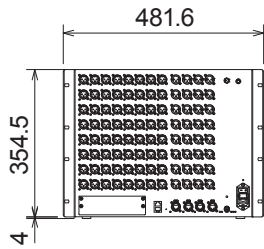
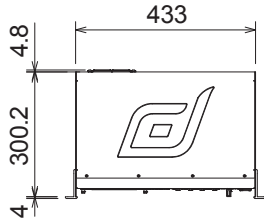




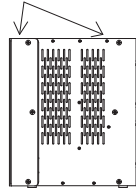
**CDM64** W481.6×H354.5×D309mm、13.5kg

8U

(単位:mm)



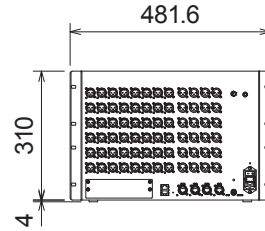
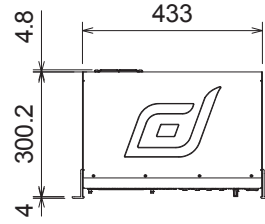
※ラックマウント部は前後で入替が可能。



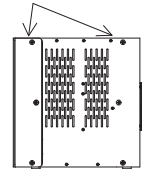
**CDM48** W481.6×H310×D309mm、12kg

7U

(単位:mm)



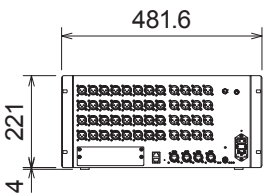
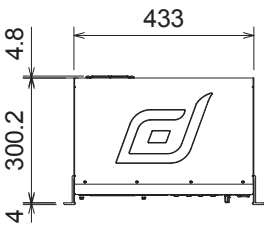
※ラックマウント部は前後で入替が可能。



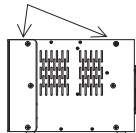
**CDM32** W481.6×H221×D309mm、12kg

5U

(単位:mm)



※ラックマウント部は前後で入替が可能。



dLive-CDM32,48,64の例

逆側（空冷ファン側）にラックマウント金具を付けた場合

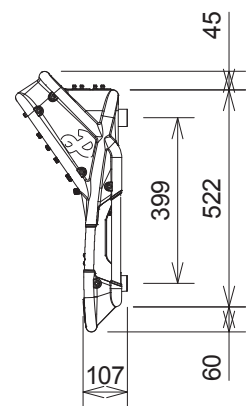
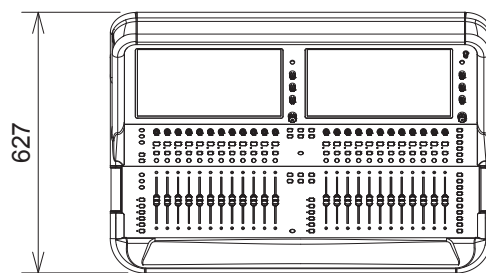
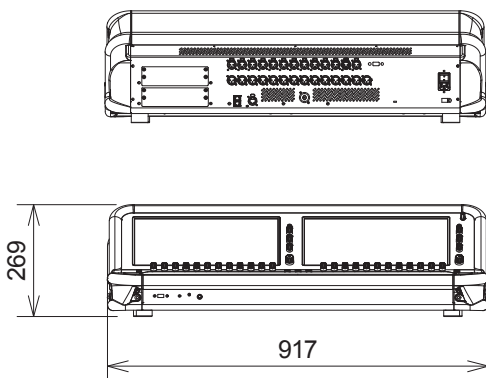
ファン側

端子側

入荷時の正位置

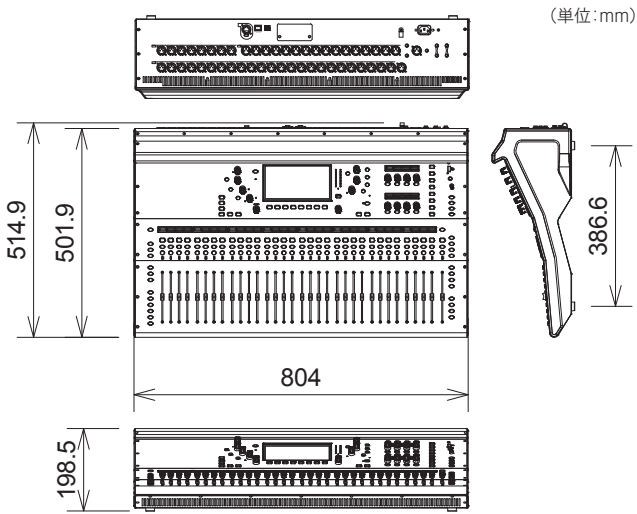
**Avantis** W917×H269×D627mm、26kg

(単位:mm)

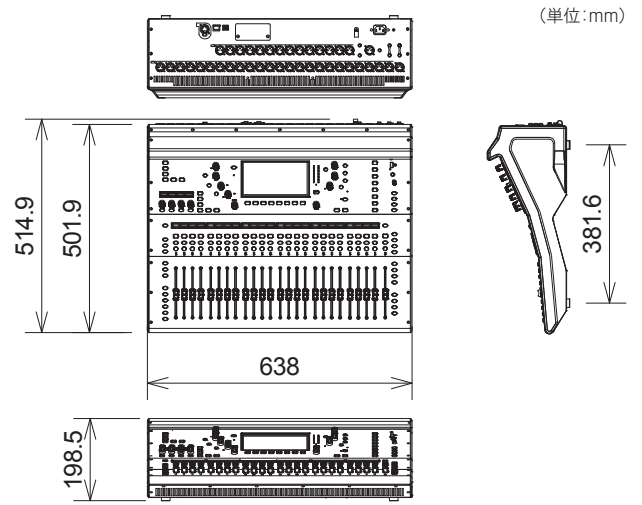


# SQ Series

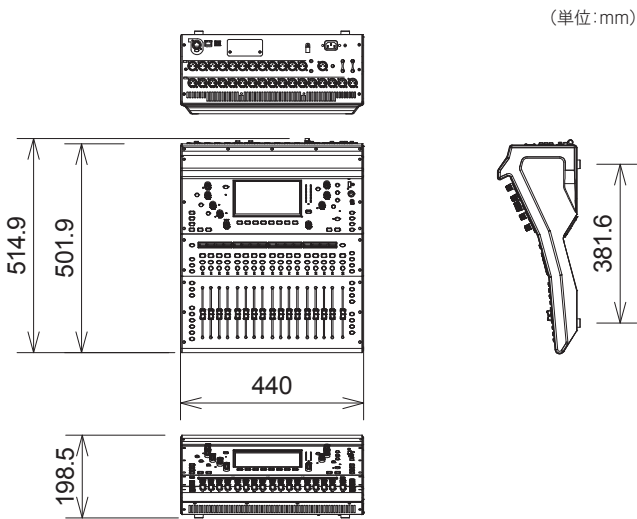
**SQ-7** W804×H198.5×D514.9mm、17.8kg



**SQ-6** W638×H198.5×D514.9mm、14.5kg



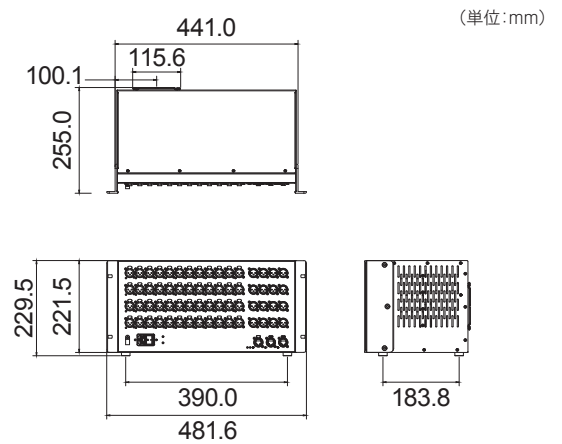
**SQ-5** W440×H198.5×D514.9mm、10.5kg



## I/O 拡張ラック

**GX4816** W481.6×H229.5×D255mm、8kg

5U

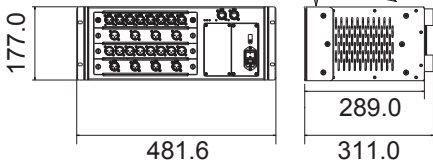


**DX32** W481.6×H177×D289mm、10.5kg

4U

(単位:mm)

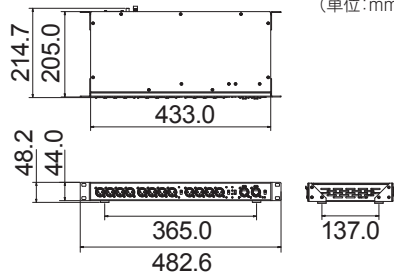
※ラックマウント部は  
前後で入替が可能



**DX012** W482.6×H48.2×D214.7mm、2.95kg

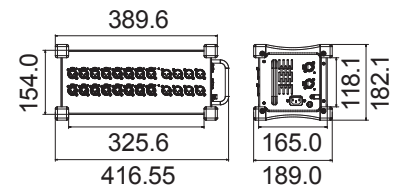
1U

(単位:mm)



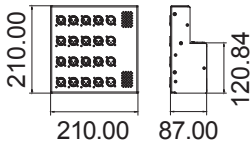
**DX168/DT168/AB168**

W416.6×H182.1×D189mm、4.6kg (単位:mm)  
(AB168:4.8kg)



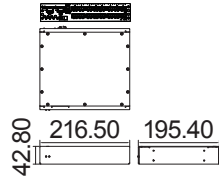
**DX164-W/DT164-W** W210×H210×D87mm, 3.2kg

(単位:mm)



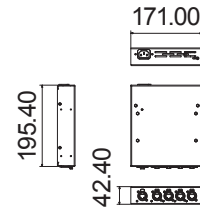
**DX88-P** W216.5×H42.8×D195.4mm, 1.5kg

(単位:mm)



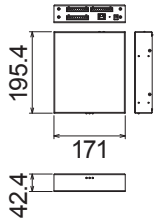
**DX Hub** W171×H43×D203mm, 1.2kg

(単位:mm)



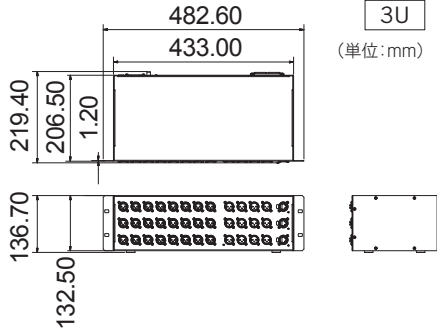
**GPIO** W171×H42.4×D195.4mm, 1.2kg

(単位:mm)



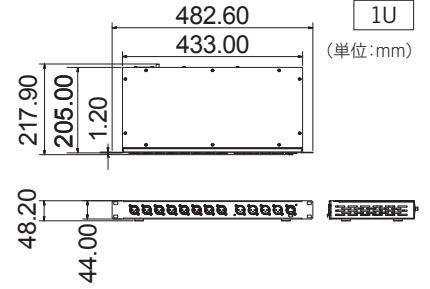
**AR2412** W482.6×H136.7×D219.4mm, 5kg

(単位:mm)



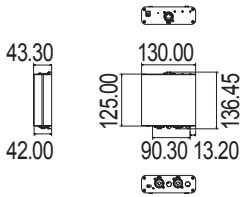
**AR84** W482.6×H48.2×D217.9mm, 3kg

(単位:mm)



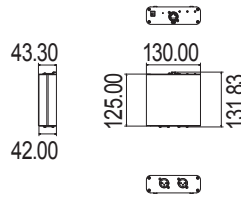
**DT20** W130×H43.3×D136.45mm, 0.5kg

(単位:mm)



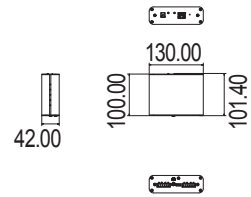
**DT02** W130×H43.3×D131.83mm, 0.5kg

(単位:mm)



**DT22** W130×H42×D101.4mm, 0.5kg

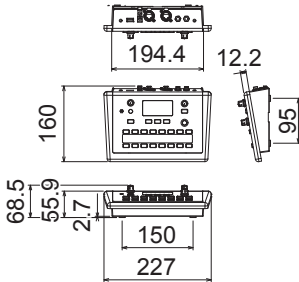
(単位:mm)



## ME

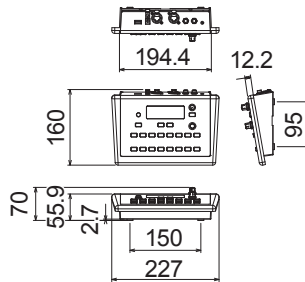
**ME-1** W227×H68.5×D160mm, 1.1kg

(単位:mm)



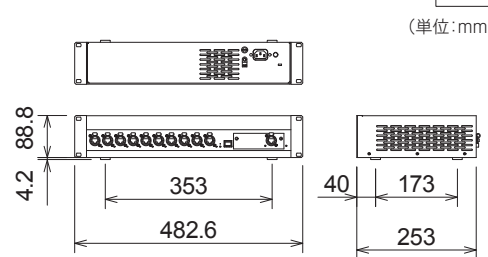
**ME-500** W227×H70×D160mm, 1.1kg

(単位:mm)



**ME-U** W482.6×H88.8×D253mm, 4.6kg

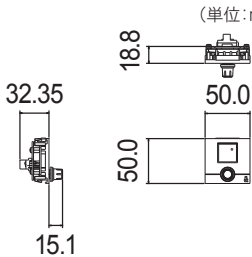
(単位:mm)



## IP

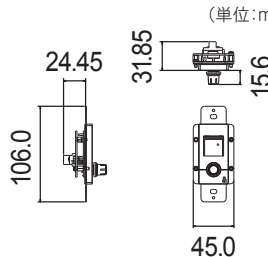
**IP1-EU** W50×H50×D32mm, 70g

(単位:mm)



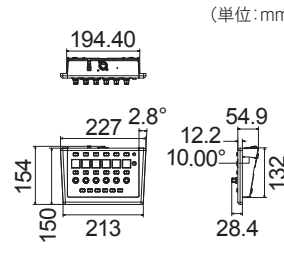
**IP1-US** W45×H106×D25mm, 100g

(単位:mm)



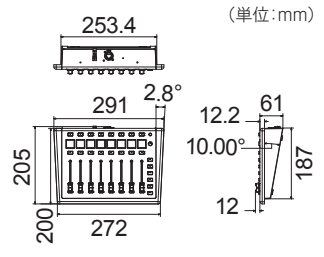
**IP6** W227×H55×D154mm, 1.5kg

(単位:mm)



**IP8** W291×H61×D205mm, 2.5kg

(単位:mm)



# ALLEN & HEATH



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

<https://www.hibino-intersound.co.jp/>

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp)

- 商品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 価格には、配送や設置、使用済み機器の引き取りに掛かる費用は含まれておりません。
- 商品写真は、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。